

通俗  
傍訓

刑法註釋大全

註那須純一郎  
解

特39

804

東京圖書館

新門 五四函

部一一 架一一

類 號

036099-001-4

特39-804

通俗刑法註釋大全

那須 純一郎/著

M15

BBP-0752





那須純一郎註解

通俗

傍訓

刑法註釋大全

版權免許

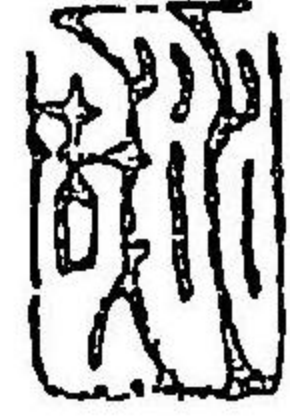
積玉圃藏

刑法



特39  
804

剛



折



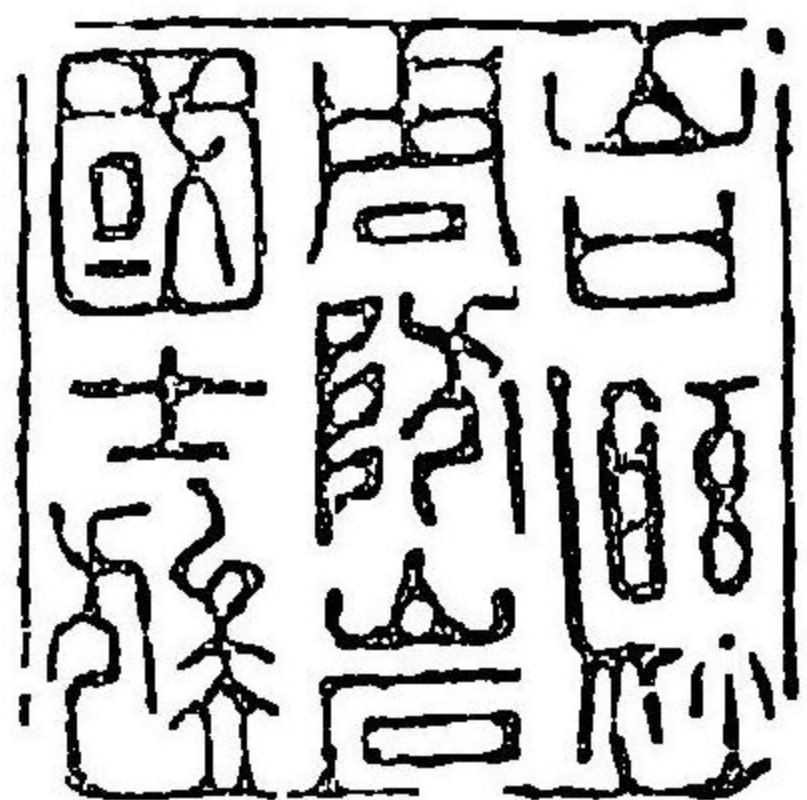
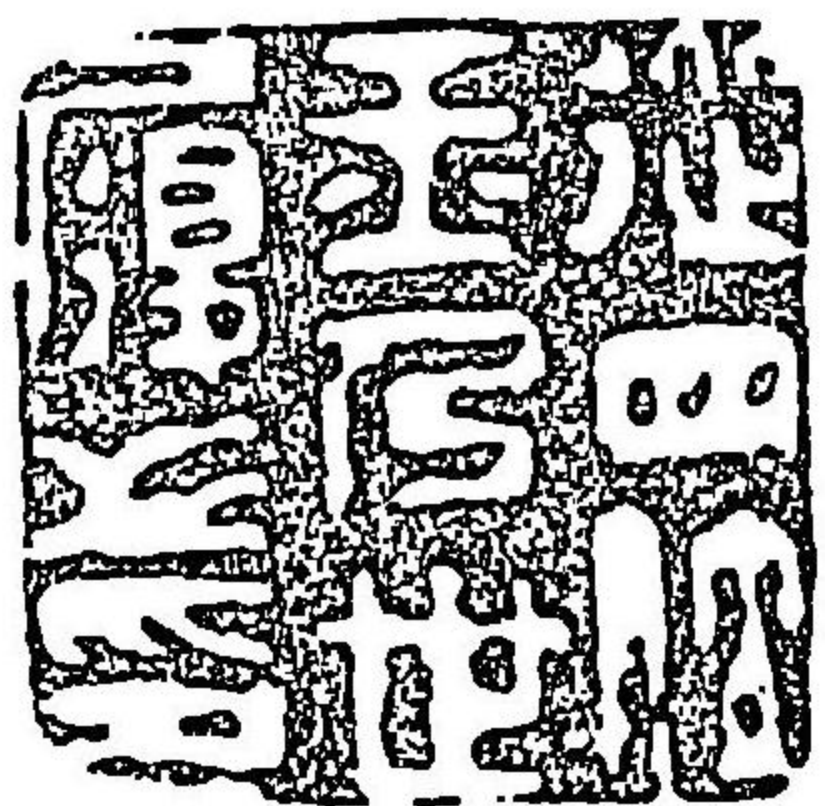
文  
天  
閣

滿  
天  
舟



之通

明治五年五月  
王乃世復題







通俗  
傍訓  
刑法註釋大全目錄

第一編 總則

第一章 法例

一葉

第二章 刑例

三葉

第一節 刑名

三葉

第二節 主刑處分

七葉

第三節 附加刑處分

十四葉

第四節 徵償處

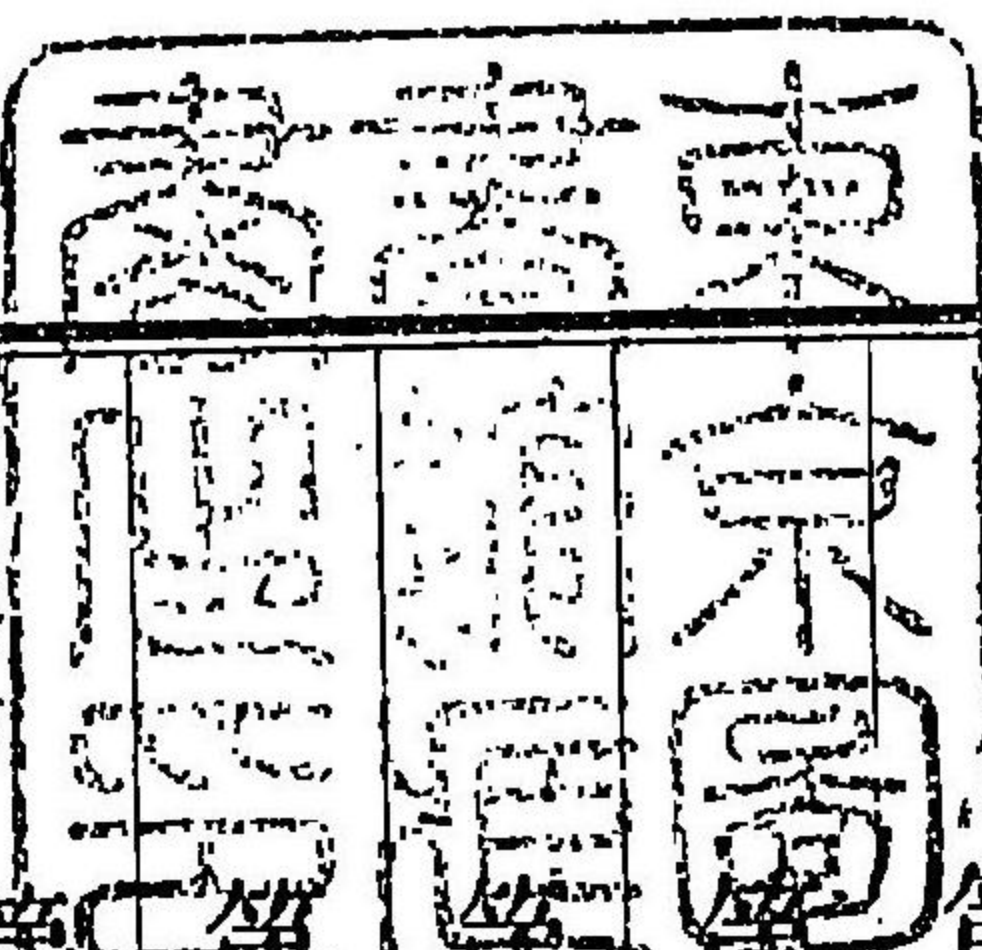
二十葉

第五節 刑期計算

二十二葉

第六節 假出獄

二十四葉





第七節 期滿免除

二十六葉

第八節 復權

二十八葉

第三章 加減例

二十九葉

第四章 不論罪及七減輕

三十三葉

第一節 不論罪及七宥恕減輕

同 葉

第二節 自首減輕

三十七葉

第三節 酌量減輕

三十九葉

第五章 再犯加重

四十葉

第六章 加減順序

四十三葉

第七章 數罪俱發

四十四葉

第八章 數人共犯

四十六葉

第一節 正犯

同 葉

第二節 從犯

四十八葉

第九章 未遂犯罪

五十葉

第十章 親屬例

五十一葉

第二編 公益ニ関スル重罪輕罪

五十三葉

第一章 公室ニ對スル罪

同 葉

第二章 國事ニ関スル罪

五十四葉

第一節 内亂ニ関スル罪

五十五葉

第二節 外患ニ関スル罪

五十九葉



第三章 静謐ノ害スル罪 六十一葉

第一節 兇徒聚衆ノ罪 六十二葉

第二節 官吏ノ職務ヲ行フヲ妨害スル罪 六十三葉

第三節 四徒逃走ノ罪及ヒ罪人ノ藏匿スル罪 六十四葉

第四節 附加刑ノ執行ヲ阻ルノ罪 六十九葉

第五節 私ニ軍用ノ銃礮彈藥ノ製造シ及ヒ所行スル罪 七十葉

第六節 往來通信ノ妨害スル罪 七十三葉

第七節 人ノ住所ノ侵スル罪 七十五葉

第八節 官ノ封印ノ破棄スル罪 七十七葉

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪 七十八葉

第四章 信用ヲ害スル罪 八十一葉

第一節 貨幣ヲ偽造スル罪 同葉

第二節 官印ヲ偽造スル罪 八十八葉

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪 九十二葉

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪 九十四葉

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病證書ヲ偽造スル罪 九十六葉

第六節 偽證ノ罪 九十九葉

第七節 度量衡ヲ偽造スル罪 百五葉



第八節 身分ヲ詐稱スル罪 百六葉

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪 百七葉

第五章 健康ヲ害スル罪 百九葉

第一節 阿片煙ニ関スル罪 同葉

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪 百十一葉

第三節 傳染病豫防規則ニ関スル罪 百十二葉

第四節 急害品及ヒ健康ヲ害スヘキ物品製造ノ規則ニ関スル罪 百十四葉

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪 百十五葉

第六節 私ニ醫業ヲ爲ス罪 百十六葉

第六章 風俗ヲ害スル罪 百十七葉

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ発掘スル罪 百十九葉

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪 百二十葉

第九章 官吏瀆職ノ罪 百二十三葉

第一節 官吏公益ヲ害スル罪 同葉

第二節 官吏人民ニ對スル罪 百二十四葉

第三節 官吏財産ニ對スル罪 百三十一葉

第三編 身體財産ニ對スル重罪輕罪 百三十三葉

第一章 身體ニ對スル罪 同葉



第一節 謀殺故殺ノ罪

百三十三葉

第二節 歐打創傷ノ罪

百三十五葉

第三節 殺傷ニ関スル宥恕及ヒ不論罪

百四十葉

第四節 過失殺傷ノ罪

百四十三葉

第五節 自殺ニ関スル罪

百四十四葉

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

百四十五葉

第七節 脅迫ノ罪

百四十六葉

第八節 墮胎ノ罪

百四十八葉

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

百五十一葉

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪

百五十四葉

九 輕禁獄

◎

第一條 二重罪トカ輕罪トカ警罪トカサツパリ分別ガツカヌナレトモ一ノガ重罪トカ輕罪トカ見レバ始メ第二節ノ九ツノ刑ハ重罪ト

云フヲ知ル但之ヲ刑スル方ハ第二節ノ九ツノ刑ハ重罪ト云フヲ知ル但之ヲ刑スル方ハ第二節ノ九ツノ刑ハ重罪ト

有期徒刑ハ前地ニ放ラズ内地ニオキ懲役場

但シ間人ハ無期徒刑ニ放ラズ内地ニオキ懲役場

無期徒刑ニ放ラズ内地ニオキ懲役場

ハ仕車ノ期限アルユヘ有期徒刑ト同ジヨウニ仕車ヲサセル

懲役ハ共ニ國內ノ獄舎ニ入レ懲役ニ遣ヒ懲ス仕置ナリ







一重罪

二輕罪

三違警罪

此ノ條ハ犯ス罪ノ輕キ重キ者ヲ重罪トシテ等級ヲ定ムルモノトス其ノ仕置ノ元分ニ重キ者ヲ重罪トシテ等級ヲ定ムルモノトナシ其ノ次ヲ輕罪トナシ其ノ至テ輕キモテ違警罪ト爲スナリ

重罪トハ第七條ニ記載タル死刑徒刑流刑懲役禁獄ノ刑ヲ重シ其ノ至テ輕キモテ違警罪ト爲スナリ

輕罪トハ第八條ニ記ケル禁錮罰金ノ刑ヲ云フ

違警罪トハ第九條ニ記ケル何レナル拘留科刑ヲ云フ

凡ソ警罪ノ種類ハ千差萬別アレ凡何ニハ何ノ刑ニハケカ様ノ事情ガアルカラト云フ其ノ區別ヲナス片ハ限リナキハ三ナラズカヘツテ種々様々ノ不便ナルユヘニケカ様ニ重罪輕罪違警罪ノ三種ニ定メタルモノナリ

第二條

法律ニ正條ナキ者ハ何等ノ所爲ト雖モ之ヲ罰スルコト

ヲ得ス

此ノ條ハ法律ニ於テ何レノ刑ニ行ヒ又ハ罰金科料等ヲ申付ルト云フケカ様アラザレハ依テ如何ナリ其理由ハ刑ヲシテ政府ト人民トノ行フ約束ナリ又ト云フ義ナリ其理由ハ刑ヲシテ政府ト人民トノ行フ約束ナリルユヘ約束ノナキ上ハ如何ナル裁判官モコレヲ仕置スルコトハナラズ實ニ此ノゴトハ人民ニ取リテハ大切ナルコト云フ可シ

第三條

法律ハ頒布以前ニ係ル犯罪ニ及ボスコトヲ得ス

若シ所犯頒布以前ニ在テ未ダ判決ヲ經サル者ハ新旧ノ法ヲ

比照シ輕キニ從テ處斷ス

前ノ條ハ法律ヲ布告セザル以前ニ係ル犯罪人ヲ仕置スルコトナラヌト云フコトニテ後ノ條ハ新法ヲ布告セザルマヘニ罪ヲ犯シテ未ダ處分ヲ受ケザルモノアル片ハ新法ト旧法トナ比較ベドチラテモ寛カナル法ニヨリテ仕置スルコト







ルモノアルモ此ノ刑罰ノ總則ニ委シテ別段ニ總則ヲ設ヘサル  
モノアルガ故ナリ  
此ノ刑罰法ハ一般ノ人民ニ關係アルモノニテ手輕ク改正ス  
ベキモノニアラザルニ關シテ別ニ稅關郡便等ノ何程カ限リ  
タル人ニ施ス規則ヲ立テ、之ヲ罰スルナリ

第二章 刑例 自第六十五條

刑ニハ此下置ト云ラシテ刑例ハ體例トシテマシタルカチ云フ  
故ニハ此下置ト云ラシテ刑例ハ體例トシテマシタルカチ云フ  
算假出獄期滿免除復權ノ一ニ至ルマデスベテ刑罰ニ九  
算假出獄期滿免除復權ノ一ニ至ルマデスベテ刑罰ニ九

第一節 刑名

第六條 刑ハ主刑及ヒ附加刑ト爲ス

主刑ハ之ヲ宣告ス

附加刑ハ法律ニ於テ其人宣告スル者ト宣告セザル者トヲ定

ム

主刑トハ獨り立チテ性實チモ刑タルモノニテ第七條第八

條第九條ニ列記タルトコロノ刑チ云フ附加刑ニテ主刑申渡

シテハタル爲スコトニテ獨立チテ附加刑ニテ主刑申渡

シテハ第二十九條ニテモ第四條ニ記キテアリテ人ヲ殺

シタルモノハ自カテ終身剝奪公權ト禁治產ノ附加刑ニシテ

ケタルモノハ自カテ終身剝奪公權ト禁治產ノ附加刑ニシテ

ヘタルモノハ自カテ終身剝奪公權ト禁治產ノ附加刑ニシテ

ノキ或ハ何月以上何年以下ノ監視ニ付スト書キノセルモ







刑ノ使ヲ用テモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ  
刑ハ國事犯ヲモ國事犯ト常事犯トニモ用ユレ氏徒刑ニ懲役ハ常事犯ニシテ

第八條 左ニ記載シタル者ヲ以テ輕罪ノ主刑ト爲ス

一 重禁錮

二 輕禁錮

三 罰金

重禁錮ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
輕禁錮ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム  
罰金ハ大抵國事犯ト常事犯トニモ用スルコトニ用ヒ苦役ヲサシム

第九條 左ニ記載シタル者ヲ以テ違警罪ノ主刑ト爲ス

一 拘留

二 科料

此ノ條ハ第一條ニアル違警罪ノコトヲ指シテ二ニツニ區別ナ  
付ケタルモノナリ  
此ノ罪ハ罪ノ中ニモ最モ輕キモノニテ皆ナ油斷ヨリ生ル  
モノニシテ強チ惡ムバキ程ノ罪ハ甚ダ少ナシソレユヘニ  
拘留トテ一日ヨリ十日迄ノ中ニテソノ罪ノ輕キ中ヲ見  
テ拘留所ニ留メ置キ又科料ハ五錢ヨリ一圓九十錢ノ中ヲ見







品物又悪事ヲナスニ用フタル道具或ハ賈銀ヲ知リナガラ  
正金。蓄ルノ類。蓄ナ言ヘ取リアケルナリ

第十一條 刑ヲ執行シ及ヒ犯人ヲ檢束スル方法細目ハ別ニ規

則ヲ以テ之ヲ定ム

刑ヲ執行スルトハ罪人ヲ仕置スルトハ犯人ヲ檢束スルトハ  
惡事ヲナシタルモノヲ取締スルト云フコトニテ此ノ様ノ  
刑規別ニ其ノ時ノ模稜ニ依テ折々改正セネバナラヌ故此ノ  
刑法中ニ記載セサルモノナリ

第二節 主刑處分

主刑ハ重立タル位置ヲ云ヒ處分ハソノ擧キ方ヲ云フ  
ナリ

第十二條 死刑ハ絞首ス但規則ニ定ムル所ノ官吏臨檢シ獄内

ニ於テ之ヲ行フ

死刑ハ絞首スルハ罪人ノ首ヲ絞殺スルニテ絞メテ殺スル  
ノ時ニハ必ず規則ニテ定メタル役人カ其ノ卒屋ノ此

内ニ出張シテ罪人ノ首ヲ絞殺スルニテ見分シ決シテ他人ニハ  
觀セルコトヲ許サズ

死刑ニ就テハ西洋人モ我國ノ人モ廢ルカ善トカ置ガ善ト  
カト云フテ中々置シキコトナレバ世ノ情態ヲ見ルニ中々

死刑ヲ廢スルハ極惡人杯少ハ出來ヌナリ若シモ今此ノ死刑  
スルハ極惡人杯少ハ出來ヌナリ若シモ今此ノ死刑ハ廢ス

モ安樂ニ竊起スルコトガナラヌユヘ如何モ此ノ死刑ハ廢ス  
ルコトハ出來ヌナリ

死刑ニ殊刑トカ加首トカ種々仕方アレバ皆殘酷シテ其  
レ程ニ惡人共ガ畏懼ク思ハヌ故ニ絞首ノ一ツニ定メ

タルナリ又之ヲ獄内ノ殺シ衆人ニ縦覽サセヌト云フモノ  
ハ其ノ縦覽人ガ最初ノ間ハ畏懼トカオロシイカノ念ヲ

生セドモ毎モ見ルニ從ヒ遂ニハ左様ノ念ヲ忘レ却テ殘忍  
ノ風俗ニ成行ナリテナリ

第十三條 死刑ハ司法卿ノ命令アルニ非ザレバ之ヲ行フコト

得ス

死刑ハ他ノ刑ト違ヒ一タビ仕置スルハ再ビ還ラヌモ  
ユヘ鄭重キ上ニモ鄭重クセバナラヌソレ故ニ復令ヒ死



刑ニ仕置スルト申渡シアリテモ司法卿ヨリ指圖アル迄ハ

第十四條 大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フヲ禁ス

大祀ハ元始祭神嘗祭新嘗祭大板ノ類ヒ今節ハ天皇紀元節ノ類ヒ國祭ハ孝明天皇春皇靈祭秋季皇靈祭仁皇天皇神武天皇桃園天皇等ノ御祭リ日ニハ人ヲ殺スノ仕置ヲ許サヌナリ

第十五條 死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懐胎ナル時ハ其ノ執行ヲ停メ分娩後百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハス

此ノ條ハ死刑ノ申渡シテ受ケタル婦女ガ懐胎ナル時ハ其ノ執行ヲ停メ分娩後百日ヲ經ルニ非サレハ刑ヲ行ハス

第十六條 死刑ノ遺骸ハ親屬故舊請フモノアレハ之ヲ下付ス

但式ヲ用ヒテ葬ルヲ許サス

此ノ條ハ死刑ニナリタル死體ハ親類ヤ朋友ガ其ノ死體ノ下渡ヲ願ヒ出ルル中ハ之ヲ下渡ス去リナガラ表向儀式ニテ葬ルノ許サレヌナリ

第十七條 徒刑ハ無期有期ヲ分タス島地ニ發遣シ定役ニ服ス

有期徒刑ハ十二年以上十五年以下トス



此ノ條ハ死刑ノ次ニ置ク重刑ナリ此ノ徒刑ノ仕置ニ遇

タルモノハ無期トテ一生ノ生涯徒刑ナリ此ノ徒刑ノ仕置ニ遇

カテテ常並ノ人ノ喜ハヌ所ノ石炭掘トガ金類ヲ掘ルト

ノ徒刑ヲ島地ニ遣ルト云フモ一ツニハ容易ク逃ケ還ル

第十八條 徒刑ノ婦女ハ島地ニ發遣セズ内地ノ懲役場ニ於テ

定役ニ服ス

此ノ條ハ前ノ條ト同シ様ナレモ此レハ婦人ニ付テノコト

ニシテ婦人ハ男子ト違ヒ身体ノ骨組モ弱キモノ故トテモ

第十九條 徒刑ノ囚六十歳ニ滿ルモノハ通常ノ定役ヲ免シ其

體力相當ノ定役ニ服ス

此ノ條ハ男女ニカハラス徒刑ノ申渡シテ受ケタルトキ

又ハ徒刑中六十歳ニ滿チタルハ當リ前徒刑ノスル仕事

ヲ免ルシテ年寄リ相應ノ仕事ヲサセラルコトナリ

第二十條 流刑ハ無期有期ヲ分タズ島地ノ獄ニ幽閉シ定役ニ

服ス

有期流刑ハ十二年以上十五年以下為ス

此ノ條ハ徒刑ト同シ様ニ無期有期トテ年限カキタレバ免

ナルナレモ一生ノ生涯免ルサレヌモノモ皆島地ニ遣ラレ

テ其ノ年限ダケオトナシグシテ居レバ免ルサルト云フ

此ノ刑ハ国事犯トテ莞角國ノ徒ニ替キ敵對スルモノニ用



ノ国事犯ノ囚人ヲケ様ニ送ク島地ニ遣ルト云フ  
モノハ再ヒ牢屋ヲ出テ、又政府ニ敵對スルコトノナキ様  
ニ送ク島地ニ遣リテ親類ヤ朋友ニ遇ハサス懲ラシ戒メル  
ナリ

第二十一條 無期流刑ノ囚五年ヲ経過スレハ行政ノ處分ヲ以

テ幽閉ヲ免シ島地ニ於テ地ヲ限り居住セシムルヲ得

有期流刑ノ囚三年ヲ経過スル者亦同シ

年限ノナキ囚人身持能クスルモノハ仕置ノ日ヨリ五ヶ年  
ヲ過キ去レハ政府ノ取計ヲ以テ其ノトチコメテ免シ某所  
ヨリ某所迄ト土地ヲ限り其ノ所ニテ居住スルヲ免ルサ  
ルナリ  
十二年トカ十五年トカ限リアル囚人ハ三ヶ年ヲ過キ去レ  
ハ前ト同シ様ニトチコメテ免サレテ居住スルコトヲ得ル  
ナリ

第二十二條 懲役ハ内地ノ懲役場ニ入レ定役ニ服ス

但六十歳ニ滿ルモノハ第十九條ノ例ニ從フ

重懲役ハ九年以上十一年以下輕懲役ハ六年以上八年以下ト

ス

此ノ條ハ懲役ノ方法ヲイフモノニテスベテ懲役ノ仕置ニ  
ナリタルモノハ國內ノ懲役場ニ入レテ夫々ノ仕事ヲサセ  
ルナリ然レモ年ガ六十二滿キタルハ第十九條ノ通り當リ  
前ノ仕事ヲサセス年老相應ノ仕事ヲサセルモノナリ  
重懲役ト云ヒ輕懲役ト云フハ仕事ノ難儀ナルト易トニ  
ヨリテ重ヒ輕チ云フニアラズタゞソノ年限ノ長キト短キ  
トニヨルナリ重懲役ハ九年ヨリ十一年迄トシ輕懲役ハ六  
年ヨリ八年迄トス

第二十三條 禁獄ハ内地ノ獄ニ入レ定役ニ服セス重禁獄ハ九

年以上十一年以下輕禁獄ハ六年以上八年以下ト爲ス

此ノ條ハ流刑ノ刑ト同シク政府ニ敵對シタル囚人ヲ懲ラ  
ス仕置ニテ此レハ島地ニ遣ラズシテ國內ノ牢屋ニ入レ仕



事ヲサセズ矢張閉チ籠メ置クナリ

第二十四條 禁錮ハ禁錮場ニ留置シ重禁錮ハ定役ニ服シ輕禁

錮ハ定役ニ服セス

禁錮ハ重輕ヲ分タス十一日以上五年以下ト爲シ仍ホ各本條

ニ於テ其長短ヲ區別ス

此ノ條ハ輕罪トテ罪ノ輕キモノヲ仕置キスル方ニシテ

コレヨリ下輕罪ノコトヲ云フナリ禁錮ハ押シ込メ場所ニ

入レ置ク仕方ナリ其ノ内重禁錮ハ夫々仕事ヲハケテ禁錮

ハ仕事ニ使ハメナリ其ノ重ト云ヒ輕ト云フ區別ハケテ禁錮

故ニ重禁錮モ輕禁錮モ同シク十一日ヨリ五年迄禁錮ト云フ

シテ其長短イノ區別ハ罪ノ情狀ニヨリテ第二編第三編

中ニ書載セタル本條ニ於テ夫々定メルナリルモノ第二百三十一條第二百三十七條以下公ケノ務メテサ

第二十五條 定役ニ服スル囚人ノ工錢ハ監獄ノ規則ニ從ヒ基

幾分ヲ獄舎ノ費用ニ供シ其幾分ヲ囚人ニ給與ス但現役百日

以内ハ給與ノ限ニ在ラス

此ノ條ハ徒刑其ノ他懲役禁錮ノ置キニ引合セテ其ノ

事ヲナシテ官署ヨリ下ル賃錢ハ監獄ノ規則ニ引合セテ囚人

中何程カチ牢屋ノ入費ニ遣ヒ其限カ百ヨリ少ケレバ賃

下サレナリ能シナガラ仕事ノ日限カ百ヨリ少ケレバ賃

錢ハ下サレヌナリ何程カノ賃錢ヲ渡スト云フモノハ囚人ガ幾

第二十六條 罰金ハ二圓以上ト爲シ仍ホ各本條ニ於テ其多寡



子區別ス

此ノ條ハ罪人ノ仕置ニスル替リニ金ヲ出サシテ其ノ罪ヲ免スヲ云フ其ノ罰金ノ高ハ罪ヲ定メル本條ヲ見ルニ二十圓三十圓四十圓五十圓百圓二百圓ヲ通例トス然レモ是レハ大概ナリ故ニ第九十三條ニ金錢ノ賈ヲ製ヘタルモノハ其ノ製ヘ高ノ二倍ノ罰金ヲ取り立テラル、モノアリ

第二十七條 罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシム若

シ限内納完セサルモノハ一圓ヲ一日ニ折算シ之ヲ輕禁錮ニ換フ其一圓ニ充サル者ト雖モ仍ホ一日ニ計算ス

此ノ條ハ裁判所ニテ何程ノ罰金ヲ出セト申付ラレタル日ヨリ一ヶ月内ニオサメザレバ一圓ニ足ラザルモノニテモ矢張り一日ニ算當スルナリ

罰金ヲ禁錮ニ換ル者ハ更ニ裁判ヲ用ヒス檢察官ノ求ニ因リ

裁判官之ヲ命ス但禁錮ノ期限ハ二年ニ週クルヲ得ス

一ヶ月内ニ罰金ヲ納メズ押シ込メノ仕置ニ取リ換ル者ハ更ニ申渡シテ檢察官ト云フ役人ノ申立ニ依リ裁罰官ガ申付ルナリ併シ押シ込メノ年月ハ二ヶ年ヨリ多キヲ許サヌナリ

若シ禁錮限内罰金ヲ納メタル時ハ其經過シタル日數ヲ扣除シテ禁錮ヲ免ス親屬其他ノ者代テ罰金ヲ納メタル時亦同シ

一ヶ月内ニ罰金ヲ納メズ遂ニ禁錮ノ日數十日後ニテ免ケル分ヲ取り去リテ罰金ヲ納ム犬ケノ金ヲ納ムレバ禁錮ハ免ルサルナリ其ノ罰金ヲ納ムルモノハ決シテ本人ニ限ラズ親類ナリ外カノモノナリ誰ニテモ代リテ納ムレハ同シ

第二十八條 拘留ハ拘留所ニ留置シ定役ニ服セス其刑期ハ一日以上十日以下ト爲シ仍各本條ニ於テ其長短ヲ區別ス



此ノ條ヨリ下三條ハ違警罪ノ三刑ヲ處分スル方法ヲ記ス  
ルモノナリ  
拘留ハ拘人ニ留ムルト云フコトニテ科人ヲ拘ヘテ拘留  
メ置キ科人ニ自由ヲサセヌ仕置ナリ其ノ留置日限モ一日  
ヨリ十日迄ノ間ノコトニテ短キ仕置ユヘ懲役ノヨウニ仕  
車ニハ使ハヌナリ其ノ科ノ様子ニテ三日留置ルモノモ  
テリ又十日ノ間キツバリオルモノアリ

第二十九條 科料ハ五錢以上一圓九十五錢以下ト爲シ仍ホ各

本條ニ於テ其多寡ヲ區別ス

此ノ條ハ違警罪ノ罰金ニシテ罪ノ贖ニ金錢ヲ取リ立ツル  
ナリ其ノ金錢ノ高ハ五錢ヨリ一圓九十五錢迄トス其ノ細  
カナルワケハ第四編中各ノ本條中ニ委シク記載アリ

第三十條 科料ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ納完セシム若シ

限内納完セサルモノハ第二十七條ノ例ニ照ラシ之ヲ拘留ニ

換フ

此ノ條ハ金額ハ甚少ナケレ尺裁判ノ確リタル日ヨリ十  
日ノ内ニ納メネバ第二十七條罰金ト禁錮ト取リ替ノ例ニ  
引合セテ拘留ニ換ルナリ

第三節 附加刑處分 自第三十一條 至第四十四條

此ノ罰ハ重罪輕罪ニ附ケ加ヘタル刑ノ仕置ヲ示ス

第三十一條 剥奪公權ハ左ノ權ヲ剥奪ス

此ノ條ハ附加刑ノ中テモマコトニ重キコトニテ種々ノ  
權利ヲ終身取リ上ルヲ云フモノナリ

一 國民ノ特權

國民ノ特權トハ本人民限リテアル權ナリ今時ノ時ニ  
テ云ハ府縣會ノ議員又ハ區郡町村會ノ議員ヲ撰ンダリ撰  
ハレタリスルコトニテ決シテ外國人ノ出來ヌ事ヲ國民ノ特  
權ト云フ



二官吏ト爲ルノ権

官吏トハ役人ト云フコトニテ役人トナルコトガ出来ル権ヲ云フナリ

三勲章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ権

勲章ハ天子ヨリ功績アル人ヘ褒美トシテ下サレハ正一位ヨリ從九位ニ至ルビトハ等級アリテ御書付ニテ下サレハモノチ云ヒ貴號トハ皇族トカ華士族トウノコトナリ

四外國ノ勲章ヲ佩用スルノ権

外國ノ勲章トハ他國ノ天子及大統領ヨリ功績ヲ褒メテ賜ハリシ賞牌トシ身ノ中ニ付ケ持ツノ權ヲ云フ

五兵藉ニ入ルノ権

兵隊ニナルコトハモト國民ノ務ナリマタ兵隊トナルコトガ譽トスルナレハ公權ノ内ヘハ加ヘタル事ナリ

六裁判所ニ於テ證人トナル權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限

又ハ出来ヌ去テソノ權ヲ取リ上ケラレタレハ左ノコト残念ニ思フ可シ

リニ在ラズ

裁判所ニテ證人トナル位ニシテモハ眞實ニスルコトハナラヌ忠義ノモノデナクテハ其ノ證拠ハ眞實ニスルコトハナラヌ故ニ國ノ提テ背シテハ自分ノ罪ヲ犯スコトナリ何ソドシテ證拠人ニ立ツコトハ出来ヌ理窟ナリ併シナガラ事ノアリシ次第ヲ言フハ證拠人ト云フモノデナキユヘハ又ナリ

七後見人ト爲ルノ權但シ親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲メニス

ルハ此限ニ在ラス

後見人トハ人ノ後口見トナルコトニテ前ト同シク正實庶直ナルハ人トナクテハナラヌ去リナガラ其ノ子ノ爲メニス



依令正實ナラザルモノニモ子孫ノ為親類ノ許シ  
段ナモノニテ懇切ナル人精ナルモノナレハ親類ノ許シ  
サヘアレバ許サルナリ

八分散者ノ管財人ト爲リ又ハ會社及ヒ共有財産ヲ管理スル  
ノ權

身代限ナセシモノ所有物ヲ預リ會社及ヒ共有財産ヲ取扱  
ビテスルニハ必ス律義ナルモノナラデハ之ヲ任せ難キニ  
ヨリ此ノ權ヲ持セヌナリ

九學校長及教師學監ト爲ルノ權

此ハ學校長トカ學監トカ云フモノハ如年ノ上ニ立テ善  
教ヘ惡チ懲スモノナレハ惡事ノ性質ニカクワラズ公權ヲ  
取上ラレル程ノ一チナシタルモノニハ此等ノ事ヲ任ス  
ハ許サヌナリ

第三十二條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス

終身公權ヲ剥奪ス

此ノ條ハ重罪ノ刑ニシラレタルモノハ別ニ申渡シテセ  
シテ終身公權ヲ取上ラレタルモノハ別ニ申渡シテセ  
右ノ様ニ種々公權ヲ剥奪スルモノハ皆重大罪ヲ犯シ  
ルモノニ限リシワケナリ其ノ重大罪ヲ犯シ重大刑ニ行ハ  
レタルモノガ國家ノ政事ニ預リ或ハ裁判所ニ出テ後如何  
人トナル様ノ大車ノ權理ヲ其儘ニサシオキテ後如何  
去レ危険者能ク過テ悔ヒ改メタル片ハ別段ニ固ナリ  
右ノ權理ハ復ス法アリ

第三十三條 禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス現任

ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ヲ行フヲ停止ス

此ノ條ハ禁錮ノ刑ニ行ハレタルモノハ別ニ申渡シテ  
セザレバ其ノ刑ニ行ハレタル日ヨリ現在勤メアル役目モ  
自カラナクナリ又禁錮中ハ第三十一條ニ記列子タル種々  
ハ公權ヲ行フヲ許サヌナリ



其身禁錮場ニアレハ實際此ノ公權ヲ行フコトヲ許ス  
ナフ訊ニハ至ラネ代人ヲ以テ行ナフコトアルユヘケ様  
ニ書キノセテ代人ニモサセヌ為メナリ

第三十四條 輕罪ノ刑ニ於テ監視ニ付シタル者ハ別ニ宣告ヲ

用ヒス監視ノ期間公權ヲ行フヲ停止ス

此ノ條モ亦前ノ條ト同シク公權ヲ行フコトヲ禁ル  
リ天子並ニ其ノ御身依リニ對シタル惡事政府ノ仕方ニ背  
キタル罪錢金並ニ官印證書杯ノ類者ヲ免タル罪等  
ノ種々ノ罪輕罪ヲ犯シ其ノ仕置ニ遇ヒ夫々本罪ヲ免ルサレ  
タル後ニ申渡シホ若干ノ監視ニナスコトアリ其レノ場合ニ  
テハ別ニ申渡シホ若干ノ監視ニナスコトアリ其レノ場合ニ  
行フニ輕罪ノ刑ニ付シタルモ  
何故ニ輕罪ノ刑ニ付シタル後ニ監視ニ付シタルモノ  
ニ此ノ公權ヲ行フコトヲ禁ルナリ  
ト場合トニ依リ再ビ罪ヲ犯スモ計難キモノアリ夫レニ依  
テ本罪ノ免サレタル後モ尚其ノ犯者ノ舉動ト行狀ヲ監視  
シ再ビ惡事ヲサセヌ用心ナリ

第三十五條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス

其主刑ノ終ル迄自ラ財産ヲ治ムルヲ禁ス

此ノ條ハ重罪ノ刑ニ附加ル刑ノ中ニテ自分ニ所持スル  
産ヲ自由ニ取扱フコトヲ禁ムルナリ此モ前ノ條ト同シク申  
渡シ附ケ加ノ刑ハ其ノ重罪ハ主刑ノ免ルサレタル片ハ此  
此ノ附ケ加ノ刑ハ其ノ重罪ハ主刑ノ免ルサレタル片ハ此  
自ラ亦免ルサレタル支配スルコトヲ免ルサヌトハ唯仕置中ノ  
財三ニ勝テ其ノ取扱ハシムル片ハ其ノ財產ヲ以テ奸計ヲシ  
テ逃ケカクレスルコトアルユヘニケ様ニ自分ニ取扱フコト  
ヲ禁ムルナリ

第三十六條 流刑ノ囚閉ヲ免セラレタル時ハ行政ノ處分ヲ

以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スコト得

此ノ條ハ囚車犯ヲ寬ニ處置スルコトニテ第二十一條ニ依リ  
五年ト三年ヲ過キ去レハ其ノ閉コメヲ免ルシテ政府ノ處



傍訓 刑罰 分ナリ 何程カ 所有ノ 品物ヲ 取戻ス 得テ 許スナリ

第三十七條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス

各本刑ノ短期三分ノ一二等シキ時間監視ニ付ス

此ノ條ハ有期重罪トテ何年スグレバ放免ニナル輕罪ノ仕置ニナリタル者ハ別ニ申渡シテス夫々受ケタル所口ノ仕置ノ刑ノ短期三ツ割一分ニ等シキ時間監視ニ付スルヲ云フナリ

刑ニ最短期最長期ノ二ツアリ候令有期ノ徒刑滿刑ハ十五年ヨリ十二年トスサスレバ其ノ十二年力短期ナルユヘ其短期ノ十二年ヲ三割ニ付スレバ四年ナリ故ニ有期徒刑滿刑ナレハ四年ノ間監視ニ付スルコトナリ

第三十八條 輕罪ノ刑ニ附加スル監視ハ之ヲ宣告ス但各本條

ニ記載スルノ外監視ニ付スルヲ得ス

此ノ條ハ輕罪ノ刑トテ重禁錮輕禁錮罰金トテ重立シタル罪ニ附加フル監視ニシテ申渡シテスルコトナリ併シナガテ谷ノ本條ニ此ハ監視ニ付スルトカ付スルヲ得ルコト確バリトシタコト記キ載セテナキモノハ監視ニ付スルコトガナラヌナリ

第三十九條 死刑及ヒ無期刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ別ニ宣

告ヲ用ヒス五年間監視ニ付ス

此ノ條ハ死刑及ヒ無期刑ノ仕置キニナルトコロ其ノ本人ガ逃ゲ隠レテドコニオルヤラ分カラユヘ仕置スルコトガテキズ而シテ死刑ニアタルモノハ二十年無期徒刑滿刑ニアタルモノハ二十五年ヲ過ギテ後捕ハレタル片ハ期滿免除ト云フテ其ノ仕置ニハセヌナリ然レモノノ間監視ニ付スルナリ



第四十條 監視ノ期限ハ主刑ノ終リタル日ヨリ起算ス主刑ノ

期滿免除ヲ得タル片ハ其ノ捕ニ就キタル日ヨリ起算ス

若シ主刑ヲ免シテ止タ監視ニ付シタル時ハ其裁判確定ノ日

ヨリ起算ス

此ノ條ハ監視ノ期限ヲ算用方チ示シタルモナリ

此ノ科人アリ仕置チ通テ期限済ミテ後ニ捕ハレタルモ

ノハ刑ヲ免ルシテタヨリ監視シカバカリニ仕置スルナリ若シ重立

重立キタル刑ヲ免ルヨリ勘定スルモトス處分スルモハ第百

二十八條ニ書キノセタル内能ノ隠謀チ自分ニ白狀シテ申

早ク申出タルモハ重立タル刑ヲ免シテ監視ニ付ス

第四十一條 監視ニ付セラレタル者其情狀ニ因リ行政ノ處分

ヲ以テ假ニ監視ヲ免スルヲ得

此ノ條ハ重立タル罪罰ニ改メタル形ナリ又改メタ

タルモ能ク捉チ守リ過チ改メタル形ナリ又改メタ

ルコト力居ヘタルハ政府ノ處分ヲ以テ假ニ監視ヲ免

スコトナリ監視ニ付スルト云クモハ別義ニアラズ罪ヲ

免ルサレテモ又思シキ罪ヲサセヌルハ其ノ罪人ガ行

状モヨクモハ大失夫アシキコトヲセヌト見込メハ監視

ヲ免ルシテモサシツカヘナキユヘナリ

第四十二條 附加ノ罰金ハ之ヲ宣告ス若シ一月内ニ納完セサ

ル片ハ第二十七條ノ例ニ照ラシ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿期ノ後

之ヲ執行ス

通俗刑罰ノ例ニ照ラシ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿期ノ後之ヲ執行ス

此ノ條ハ輕罪ノ主刑トナル禁錮ニシテ後一月ノ

内ニ納メタルハ第二十七條ノ例ニ照ラシ輕禁錮ニ換ヘ主刑滿期ノ後之ヲ執行ス



主刑ノ位置キテシテカラ又輕禁罰ニ位置キスルモノナ  
リ去リナカラ刑罰ノモノ又ハ他人デモ代此ノ罰金ヲ納  
メサヘスレハ罪ハ免ルサルナリ

第四十三條 左ニ記載シタル物件ハ宣告シテ官ニ没収ス但法

律規則ニ於テ別ニ没収ノ例ヲ定メタル者ハ各其法律規則ニ

從フ

此ノ條ハ罰金ノ刑ト一トツコトニテ人ガ人身傷ヲ取リ  
ル刑ニシテコレ亦申渡シテスルナリ別ニ法罰規則ニテ之  
ヲ取上ル罪ノ擬アルモノハ其擬ニ罪合セテ取計フナリ

一法律ニ於テ禁制シタル物件

此ノ條ニテ禁制タルモノト云ハ官ニ内蔵ニテ私ニ製造ヘタ  
ル物件ナリ假令バ軍用ノ銃炮藥及ハ贗物ノ金銀阿片煙  
ノ如キ毒物贗手形其他賭博ニ使フ器具類等ハ罰金ヲ取  
ル所存ヘキモノニアラサルユヘシニ後收スルナリ

二犯罪ノ用ニ供シタル物件

此レハ惡罪ヲナス爲ニ用フタル物件ヲ云フナリ假令ハ人  
ヲ殺シ傷ケタルトモノ及物及ハ贗金ヲ製ルニ用フタル  
其飾シナガラ此等ノモノハ人民ノ所有トナトメラレタル  
品物ニアラザルユヘ其ノ贓用フタルモノハ所存ナレハ  
没收ルナレ其ノモノハ所存ニアラス他人ノ品物デアリ  
タルハ其ノ擬ニ返スナリ

三犯罪ニ因テ得タル物件

惡シキイナシテ利益タルモノ官更ノ贓フタル賄賂贗金  
ニテ人ヲダマシカヘタル賄金等ハ悉ナ没收ルナリ

第四十四條 法律ニ於テ禁制シタル物件ハ何人ノ所有ヲ問ハ

ス之ヲ没收ス犯罪ノ用ニ供シ及ヒ犯罪ニ因テ得タル物件ハ

犯人ノ所有ニ係リ又ハ所有主ナキ時ノ外之ヲ没取スルヲ

得



此ノ條ニ禁制物件トハ前條ニ於テ示シタルトフリ人取ノ  
所有ヘキモノニアラズ故ニコレハ見解次第トリアゲルナ  
リ懲キヲナスタメニ取付タルモノヤ懲キヲナシテマ  
フケタル利得ハ固ヨリ人取力當リ前ニ所有トナシテモ  
ノユヘニソノ懲シキ事ヲナシタル本人ノモノテサヘナケ  
レハ返スナリモシモ所有主ガナカツタトキハ没収アゲル  
トガ出来ルナリ

第四節 徵償處分

自第四十五條 至第四十八條

徵償處分トハ人取力懲シキトナスニ併テ第一等裁判  
所ノ入用假令ハ此ノモノ、罪ノ輕重ニ依リテ輕キ重キ  
裁判スルニハ証據長ト力輕ト力カトカ之レガ爲ニ入  
用ノアルユヘ夫レ等ノトリタテテシワケスルコ  
トヲ云フナリ

第四十五條 刑事ノ裁判費用ハ其全部又ハ幾分ヲ犯人ニ科ス

但其費用ノ額ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ定ム

罪ヲ犯シタルモノニテ人取罪人アリ之種々ノ手続ノカ  
ナリ假令ハ茲ニ一ノ人取罪人アリ之種々ノ手続ノカ  
ルニハ證人ヲ呼出ス旅費日當トカ又盜其物ナレハ差  
盜ミタル品物ノ直段ヲ定メルモノトカ手當其他使テハ  
入費ナルユヘソノモヨリ之ヲ弁償ルハ當リ前ナリ併  
ナガラ其入費ヲ三ナ出サセズシテ少クハ官置ヨリ出  
トモアリソレハ裁判官ガ誤リテ輕キ罪ヲ重ク仕置スル  
アリタルハ莫大ノ入用ヲ其罪人ニ出シ幾分ヲ罪人ヨ  
テナキユヘ其様ノハ幾分ヲ官置ヨリ出シ幾分ヲ罪人ヨ  
リ出サスナリ

第四十六條 犯人刑ニ處セラレ又ハ放免セラレト雖モ被害

者ノ請求ニ應シ贓物ノ還給損害ノ賠償ヲ免カル、トテ得ス

罪人カ仕置ニアヒ又ハ無罪トカ何トカ免ルサレタル  
モノトイヘトモ懲シキモノ、タメニ難義ヲシタルモノ、  
願ヒニ依リテハ其盜ミモノノ其盜ミモノノ其盜ミモノ  
カ破ストカシタルハ夫々所有主ヘ品數ヲソ口ヘテ返ス



ナリモシ其ノ物品ヲナクシタルハ其物品ニ當ル出ケノ代金ヲ拂ハスナリ

第四十七條 數人共犯ニ係ル裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償

ハ共犯人ヲシテ之ヲ連帶セシム

此ノ條ハ人々申合テ共ニ犯シタルトキノ裁判ノ入用ヤ盜ミモノヲ返シ又ハ盜物ナドヲウシナフトカ破ストカシタルトキ其ノ償ヒヲサセルニハ其人カ一統ヘ申付ラレシニ四令ハ五人申合セテ犯シタルトキ右ノ償ヲ申付ラレシニ四人遊ハ食人ニテテモ之ヲ返スコトガ出來ト云フテ其人カ自分ケ出シテ濟ヌ失張リ五人分ヲ出サナラヌコトナリ

第四十八條 裁判費用贓物ノ還給損害ノ賠償ハ被害者ノ請求

ニ因リ刑事裁判所ニ於テ之ヲ審判スルト得若シ贓物犯人ノ手ニアル時ハ請求ナシト雖モ直チニ之ヲ被害者ニ還付ス

此ノ條ハ裁判所ノ入用盜ミ物ノ返シ損失ノ償ハモト刑罰ニアラス然ルニ惡シキコトニ出遇タルモノ願ヒニヨリテ刑事裁判所ニテ之ヲ裁判スルハ治罪法第四條ニ記載シタル通り公ケテ之ヲ附添フタル私ノ訴ヘナルユヘ其ノ惡シキコトニ出遇タルモガ犯人ヨリ願ヘハ私ノ訴テモ裁判スルコトナリ若シ盜モノガ犯人ヨリ願ヘハ私ノ訴テモ惡シキコトニ出遇タルモヨリ願ヒナシト雖モスグニ之ヲ返シツカハスナリ

第五節 刑罰計算 自第四十九條至第五十二條

刑罰トハ仕置ノ日限ヤ年限ノトナリ計算トハ勘定ノコトニテ此ノ罪ノ仕置ハ何時トカ何年ノ間徒刑ニスルトカ懲役ニスルトカヲ申シワタシタル初時ヲサダメルナリ

第四十九條 刑罰ヲ計算スルニ一日ト稱スルハ二十四時ヲ以

テシ一月ト稱スルハ三十日ヲ以テシ一年ト稱スルハ曆ニ從

フ



受刑ノ初日ハ時間ヲ論セズ一日ニ算入シ放免ノ日ハ刑期ニ

算入セズ

罪ノ中外ニモ無期トテ生涯仕置ニアヒ免サレハ其ノ  
勘定カタチ定ムルナリ其ノ勘定ノ仕方トハ一日ト云フハ  
二十四時一月ト云フハ一月ト云フハ一月ト云フハ  
明治十五年一月十日ニ二年二月ノ禁錮ノ申渡セラレタ  
リトセバ十七年一月十日ニテ満二ヶ月トシ此ノ日ニ放免  
スルナリ  
申渡シテ受ケタル日ハ仕置中ノ日限ニハ入レヌナリ  
日トス放免日ハ仕置中ノ日限ニハ入レヌナリ

第五十條 刑ハ裁判確定シタル後ニ非サレハ之ヲ執行スルコト

ヲ得ス

此ノ條ハ罪人ノ仕置スルニハ裁判ガキツバリトイハル  
後ニアラサレハ之ヲトリオコナフコトガデト云フコトナ  
リ  
此レハ刑ノトリオコナヒテ鄭重スル事ニテトヘバ裁判  
申立テ仕置申渡シタル後ニ犯人カ裁判ナクハ控訴  
申立テ控訴上訴シテ其ノ擱キ付タル日又ハ控訴  
爲スナリ  
爲スナリ

第五十一條 刑期ハ刑名宣告ノ日ヨリ起算ス若シ上訴ヲ爲シ

タル者ハ左ノ例ニ從ス

刑ノトリオコナヒハ裁判カキツバリキマリタルニテラ  
レハ之ヲトリオコナハズトイハ仕置ノ期限ハ何々ノ刑  
ニ處スト云フ申渡シテ受ケタル日ヨリ數ヘ出ス併シトガ  
ラ若シ犯人カ其裁判不服ナリトシテ上訴ヲ爲シタル者  
ハ本條ニ據グル三ツノ例ニ就テ計算スルナリ

一犯人自ラ上訴シテ其上訴正當ナル片ハ前判宣告ノ日ヨリ







第五十三條 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレタル者獄則ヲ謹守シ悛

改ノ狀アル時ハ其刑期四分ノ三ヲ經過スル後行政ノ處分ヲ

以テ假リニ出獄ヲ許スコトヲ得

無期徒刑ノ囚ハ十五年ヲ經過スルノ後亦同シ

流刑ノ囚ハ第二十一條ニ照ラシ幽閉ヲ免スルノ外假出獄ノ

例ヲ用ヒス

此ノ重罪輕罪ノ仕置ヲ受ケシモノハ其仕置ノ大切ニ年屋ノオキテテ

テ三分通り過去レハ政府ノ取計ヒテ以テ假ニ年屋ヲ出ス

無期徒刑ノ年限ナキモノニテモヨク改心スルハ十五  
ケ年ヲ過キ去レハ同様ノ取計ヒテ以テ假リニ年屋ヲ出ル  
テ三分通り過去レハ政府ノ取計ヒテ以テ假ニ年屋ヲ出ス  
ナリ  
此ハ三年ヲ過キ去レハ其ノトテテ改心スルハ十五  
ユヘ此ノ假出獄ノ取計ヒテテ改心スルハ十五  
此ノ假出獄ハ罪人ノ爲メニ罪人ノ法示スモノハ如シホ  
ニ故トナレバ罪人ノ爲メニ罪人ノ法示スモノハ如シホ  
キテテ守リ改心ノ狀アレテ此ノ人ハ改心ノ限ハ同シトス  
モ守ラサルモノアリ而シテ此ノ人ハ改心ノ限ハ同シトス  
ル片ハ其ノ改心スルモノヨリ不平等ナルコトニナリユク  
キテテ守ルモノ改心スルモノヨリ不平等ナルコトニナリユク  
ユヘニ此ノ法ヲコシテ限ヨリ早ク假出獄ヲ免シテ罪人ヲ  
ルモノニハ仕置ノ年限ヨリ早ク假出獄ヲ免シテ罪人ヲ  
ナ善キ心ニナルヨウニ誘導スルモノナリ

第五十四條 徒刑ノ囚ハ假出獄ヲ許サルト雖モ仍亦島地ニ

居住セシム

徒刑ノ罪人前ノ通り假リニ年屋ヲ出ルコトヲ許サルハ  
何ニ故トナレハ假リニ年屋ヲ出スコトニ何時マテ惡慮  
ナナスカモ計ラレ故ニ其ノ時ハスグニ年屋ヘ入レテハ



ナラヌユヘナリ

第五十五條 假出獄ヲ許サレタル者ハ行政ノ處分ヲ以テ治産

ノ禁ノ幾分ヲ免スルコトヲ得但水刑期限内特別ニ定メタル監

視ニ付ス

前ノ通り假リニ牢屋ヲ出ルコトヲ許サレタルモノ故政府ノ取計  
通例ノ人トオナシク身體ノ自由ヲ得ルモノ  
ビチ以テ物品金銀ニ限ラズ已ノ所有品ノ幾分ヲ勝手ニ取  
扱フコトヲ得ルナリ併シナガラ仕置ノ期限内コトサラニ  
定メタル監視ハ許サレヌナリコトサテ定メタル監視ト  
云フハ別段ニ規則アリ例イヘバ其住居ヲ監視手ニ  
他出テ許サズ又ハ某ノ所ヘハ行クコトヲ禁メルノタダヒ  
ナリ

第五十六條 假出獄中更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ直チニ出

獄ヲ停止シ出獄中ノ日數ハ刑期ニ算入スルコトヲ得ス

改心ノ念アリヨクオキテ守テ仮リニ出獄ハ許サレタル  
モ又アラタニ重罪トカ輕罪トカチ犯シタル片ハスグニ出  
獄ヲ停止メテソノ上ニモ出獄中ノ日數ハ仕置ノ年限内ニ入  
レヌナリ仮ヘハコトニ人ナシテ遂ニ死シタル科ニヨツ  
テ十年ノ重懲役ニ仕置キサレタル者ノ年限四ツ割ノ三七  
守リテ第五十三條ノ規則ニ引合セ其ノ年限四ツ割ノ三七  
年六ヶ月ヲスギテ仮リニ牢屋ナシテ出獄トナシテ後一  
年ヲ越テアラタニ惡事ナシ其ノ出獄トナシメテ再ヒ牢  
屋ヘ入ルトキハ出獄中ノ一年ハ全クナシテモナラヌト  
ニテ矢張り残り二年六ヶ月ノ間ハ牢屋ニオラ子ハトラヌ  
ナリ

第五十七條 刑期限内更ニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ハ仮出獄ヲ

許サス

假リニ出獄ヲ許スト云フモ犯人カ改心ノ念アリ能クオキ  
テ守ルユヘナルニ仕置ノ中ニ又惡事ナシメテ再ヒ假出  
獄ヲ許サヌナリ







ハ其輕キ重キニ因テナリ

第六十條 剥奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ス

附加刑ノ罰金ハ主刑共二期滿免除ヲ得

沒取ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但シ禁制物ハ期滿免除ノ限

リニアラス

○ 剥奪公權トテ國民ノ特權官吏ト爲ルノ權又ハ監視ハ仕置中ニ濟

一條ニ記キノセタル凡テ九種ノ權又ハ監視ハ仕置中ニ濟

刑トテ主刑ニ附加ヘタル罰金ハ其ノ主刑ト共二期滿免

除ヲ得ルナリ且モハ犯人ノ所有ト所有主ナキ分ハ五年

ヲ過ギザレバトモハケチセス期滿免除ノワケニハイカ又ナリ

ハ何十年ヲ過ギ去ルトモ期滿免除ノワケニハイカ又ナリ

第六十一條 期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遣レタル日ヨリ起算ス若

シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタル時ハ其逃走ノ日ヨリ起算シ闕席

裁判ニ係ル時ハ其宣告ノ日ヨリ起算ス

○ 期滿免除ノ初日ヲ定ムルニハ其仕置ヲ遣レタル日ヨリ計

ヘルナリ又一旦召捕ニナリテ再ヒ逃走リタル時ハ其逃走

リタル日ヨリ勘定スルナリ欠席裁判トハ罪人カ裁判所ヘ

出頭セス都合ニヨリ其不参ノマ、ニテ裁判スルコトアリ

第六十二條 刑ノ執行ヲ遣レタル者ニ對シ逮捕ヲ命シタル時

ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨリ期滿免除ヲ起算ス

○ 刑ノ仕置ヲ遣レタルモノヲ召捕ルベキワケヲ書付タル令

狀ヲ出シタル一番終リノ日ヨリ算ヘルナリシカシテ

スルハ何年ヲテモ期滿免除ヲ得ルコトガナキユヘ此

ノ令狀ヲ出スニハ其犯シタル罪ヨホト大罪ナルカ又ハ外

ニワケノアルカニ因リテ何ノ日迄モ期滿ヲ免サヌ場合ニ



第八節 復権 自第六十三條 至第六十五條

復権トハ元ニカヘルト云フコトニテ第三十一條ニ書キノセタル九種ノ公權一旦取り上ケラレタレハ種々ノワケニヨリ元ノ通り之ヲ行フコトヲ得ルヲ云フナリ

第六十三條 公權ヲ剥奪セラレタル者ハ主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ経過スルノ後其情狀ニヨリ將來ノ公權ヲ復スルコト

ヲ得  
主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ

経過スルノ後亦同シ

此ノ公權ヲ一旦取上ケラレタル片ハ一生カヘルコトナキモ罪法第四百七十五條以下ノ規則ニヨリ科人ヨリ願ヒ出ツルヲ許シアルヲ以テ其時能ク其モノ身持チシラベ其上ニ

テカヘシヤルナリ然レハ前ニサカノボリカヘスワケテハナク之レヨリ後ノコトエハ夫ノ恩給年金ノモノハ取上テハ重立タル主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ過去レハ前ト同シヨウニカヘルナリ此ノ附加刑ニハ期滿免除モナク又假出獄チサスコトモ出来ヌユヘテ様ニ復権ノ規則チコシラヘシナリ

第六十四條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ直チニ復権ヲ得特

赦ニ因テ免罪ヲ得タルモノハ赦狀中記載スルニアラザレバ

復権ヲ得ス

赦ニ因テ復権ヲ得タルモノハ自ラ監視ヲ免シタルモノトス

朝廷ニテ大ナル御祝ヒゴト等ニテ天子ノ御思召チ以テ凡テノ罪人ヲ免ルサルハ大赦ト云ヒ其人ニ限り罪ヲ赦ス



カヘスト云フ書付ナキトキハカヘラヌナリ  
監視ハ大赦特赦ノワケヘテナク赦ニ遇フタルキハ免シ  
タルモノナリ  
大赦ハ全ク無罪トナスユヘ公權ハ書付ナクトモカヘル  
ナレトモ特赦ハ其罪ナシトスルワケテナキユヘ書付ガナケ  
レバ復讐ハ得ザルモノナリ

### 第六十五條 復讐ハ勅裁ニ非サレハ之ヲ得可カラス

前ノ條ニ記キノセタル復讐ヲカヘシヤルコトハ天子ノ  
御思召ナクテハ外ノモノガ出来ヌト云フナリ

### 第三章 加減例 自第六十六條 至第七十四條

罪人ノ模稜ニ因テ其罪ヲ重クシ或ハ輕クスルコトアリ  
令バコ、ニ二人アリ一人ハ前ニ罪ヲ犯シテ又罪ヲ犯ス  
モノハ仕置重ク加ヘ一人ハ罪ヲナスモ御上ノ氣ノ付ヌ  
マニ白状スルモノハ其罪ヲ減シ輕クスルナリ故ニ罪人  
ノ模稜ニ因テ罪ヲ重クシ又ハ輕クスルヲ云フナリ

### 第六十六條 法律ニ於テ刑ヲ加重減輕ス可キ時ハ後ノ數條ニ

記載シタル例ニ照ラシテ加減ス但加ヘテ死刑ニ入ルコト許  
サス

此ノ刑法ノ擬ニヨリテ加ヘテ重クシ減シテ輕クスルコト  
ハ後ノ第六十七條ヨリ第七十四條迄ニ書キノセタルモノ  
ニ引合セテ加減スルナリ併シナガラ加ヘテ重クスルモ無  
期徒刑ニ止マリ死刑ニ入ルコトヲ得ザルナリ

### 第六十七條 重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照シテ加減ス

#### 一 死刑

#### 二 無期徒刑

#### 三 有期徒刑

#### 四 重懲役

#### 五 輕懲役



⑤ 加テ重クスルモ減シテ輕クスルモ噸ヲ過テ飛越サズ上ヘカケテ増シ下ヘ減シテ輕クスルナリ假令ハ死刑ヨリ一等ヲ減セハ無期徒刑トナリ又輕懲役ヨリ一等ヲ加ユレハ重懲役トナルノ類ヒナリ

第六十八條 國車ニ関スル重罪ノ刑ハ左ノ等級ニ照ラシテ加

減ス

一 死刑

二 無期流刑

三 有期流刑

四 重禁錮

五 輕禁錮

⑤ 加減ノ仕様ハ前ト同ジ

第六十九條 輕懲役ニ該ル者減輕ス可キ時ハ二年以上五年以

下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ一等ト爲ス輕禁獄ニ該ル者減輕

ス可キ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等

ト爲ス

⑤ 常ニ犯罪ニ用フル一番下等トスル輕懲役ノ仕置ニスベキ罪ヲ減ス時ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ申シ付ルヲ一等

減スルモノトス 國吏犯ノ罪人ヲ仕置スル一番下等トスル輕禁獄ノ刑ニア

タル罪ヲヘラシテ仕置スルハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ申シ付ケラル一等ヲ減スルモノトス

第七十條 禁錮罰金ニ該ル者減輕スヘキ時ハ各本條ニ記載シ

タル刑期金額ノ四分ノ一ヲ減スルヲ以テ一等ト爲シ其加重

スヘキ時ハ亦四分ノ一ヲ加フルヲ以テ一等ト爲ス



輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪ニ入ルヲ得ス但禁錮ハ加ヘテ七年

ニ至ルヲ得

禁錮罰金ノ仕置ニスベキモノヲ減シ輕クスルハ夫々四

禁錮罰金ナリト擬ニ記キノセタル仕置ノ期限罰金高ク四

ツ割ノ一分ヲ減スヲ一等トナス輕罪ノ刑ヲ段々推上ル

第七十一條 禁錮ヲ減盡シタル時ハ拘留ニ處シ罰金ヲ減盡シ

タル時ハ科料ニ處ス禁錮罰金ヲ減シテ其短期十日以下寡數

一圓九十五錢以下ニ及フ時ハ亦拘留科料ニ處スルヲ得

禁錮ヲ減シ仕マヒタル片ハ拘留ニ仕置シ罰金ヲ減シ仕マ

ヒタル片ハ科料ニ仕置スルナリ又禁錮ノ日數十日寡ナク

罰金ノ高一円九十五錢ヨリシダニナレバマタ拘留科料ニ

申付クルナリ

コハ二道ニ遣タルモノヲ控ヒカクシテモチ又シニ還サス

第七十二條 拘留科料ニ減ル者加減スベキ時ハ禁錮罰金ノ例

ニ照シ其四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス

違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得ス但拘留ハ加ヘテ十

二日ニ至ルヲ得減ジテ一日以下ニ降スヲ得ス科料ハ加

ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下ニ降スヲ得

ス

拘留科料ヲ重クシ輕クスルハ第七十條禁錮罰金ノ仕方ニ



等トナス  
違警罪ヲ犯シタルモノヲ加ヘテ輕罪ノ中ヘ入レルトナ  
ラヌハ丁度輕罪ノモノヲ加ヘテ重罪ニ入レルトナ出来ヌ  
ワケト同ジトナリ併シ拘留ノ仕置ハ當リ前ハ十日ナレ  
増シ加ヘテ十二日トナスト得ル然レモ減シテ一日以下  
トナスト出来ルナレモ又科料ヲ増シ加ヘテ二円四十錢ニ迄  
トカ出来ルナレモ減シテ五錢以下ニヘラストガナラヌナ  
リ

第七十三條

禁錮拘留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生シ

一日ニ滿サ時ハ之ヲ除棄ス

禁錮拘留ヲ加減スルニ其日限ニ零數ガ出来ルハ之ノハ  
シタチナステルナリハシタトハ二十四時間ニ足ラザルモノ  
ヲ云フナリ

第七十四條

附加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分ノ

一ヲ加減スルヲ以テ一等トナス若シ減盡シタル時ハ止タ主

刑ヲ科ス

附加ノ罰金ハ重タチタル主刑ニヨリテ加ヘタリ減シタリ  
スルニ其金額ノ四ツ割ノ一ツ分ヲ加減スルヲ一等トナス  
モシ減シ盡クシテナクナルトモハ只重立タル主刑ノ一  
科スルナリ

第四章 不論罪及ヒ減輕

不論罪及ヒ減輕トイフハ惡シキトナシタルモ自  
分ニ惡シキトナスト思ハズシテナシタルモノハ存ル  
シテ仕置セス減輕ハ皆迄ユルサズ少シバカリ存シテ其  
仕置ヲ輕クスルナリ

第一節 不論罪及ヒ有恕減輕

第七十五條

抗拒ス可カラザル強制ニ遇ヒ其意ニ非ザルノ所

爲ハ其罪ヲ論セス

天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可カラザル危難ニ遇ヒ自己若



クハ親屬ノ身體ヲ防衛スルニ出タル所為亦同シ

抗拒トハ敵討ノ出来又モ一強制トハ無理ヤリニ云ヒ付ケラレ仕方ナ  
 其敵討ノ出来又モ一強制トハ無理ヤリニ云ヒ付ケラレ仕方ナ  
 シニ自身ノコハ口ニナキ惡シキヲナシタルモノハ仕置  
 ニハヒ又ナリ依令ハ一人ノ惡人アリテ一人ノ善人ノ手ヲト  
 リ之ニ刃モノヲ持ヒテ其惡人ノ力ヲ以テ無理ニ人ヲ殺シ  
 又ハ傷ツケントスルニリモノイヤトイハバ惡人が殺シレ  
 ヲコロストカ傷ケルトカスルユヘニ仕方ナク之ヲ殺シ又  
 ハ傷ケタルモノ又ハ一人ノ惡人カ他ノ人ノ子ノ弟ヲ捕ヘ  
 テイフニハソノ方今コハテ何某ヲ殺シ加期々々ノ子ヲ威  
 セバヨシニ爲サネバ今眼ノ前テコノモノヲ刺シ殺サント威  
 サレ仕方ナク其惡人ノ言ニシタガヒ之ヲ殺シ又ハ傷ケタ  
 ルモノヲ云フナリ  
 天災又ハ意外ノ變トハ火災ニ遭フトカ大水ニ出遇トカス  
 ベテオモヒモヨラ又災難ニ出遇ヒテ他人ノ難儀トナ口フ  
 ガナルマイカ一向ニ頭着セズ只マ自身又ハ親類ノモノハ  
 命ヲ助ル爲ニ他人ノ命ニカハル程ノ變ヲナシテモ罪ニハ  
 ナラヌナリ  
 自身ノ難儀ナカマハズ人ヲ助クルモノヨリイヘバスコシ

ハ罪アルヨウナレハ夫レハ千万人ノ中ニテ一人カ二人位  
 ニテ普通ノ人ニハトテモ出来又コトナリ此ノ概ハ天下  
 一般ノ人ノ爲ニ設ラヘタルモノナレバ右ノ如キ千万人ノ中  
 ニテ一人ノ爲ニ設ラヘタルモノナレバ右ノ如キ千万人ノ中  
 ルワケニハナラヌナリ

第七十六條 本属長官ノ命令ニ従ヒ其職務ヲ以テ爲シタル者

ハ其罪ヲ論セス

刑屬長官トハ自分ノ勤ムル役所ノ長官ニテ其長官ノ申シ  
 付ケニヨリ役所ニテ爲シタルモノハ罪トハナラヌ如何ニ  
 長官ニテ其役目ヲナキ指圖ニ従ハシタルコトハ罪トナ  
 ルナリ其罪トナラヌモノ後令ハ檢察官ノ指圖ニテ死刑ニ  
 オコナフモノヲ殺シ司令長官ノサシツニ従ヒ兇モノヲ殺  
 シタル兵卒ノルイナリ

第七十七條 罪ヲ犯ス意ナキ所爲ハ其罪ヲ論セス但法律規

則ニ於テ別ニ罪ヲ定メタル者ハ此ノ限ニ在ラス



罪ト犯スニ意トテ所爲トハ仮令ハ他人ノ品ヲ自身ノモノト思ヒ違ヒシテ之ヲ取リタリ又ハ容銀ヲ持テ樹木ヲ伐片ソノ斧鉞ノヒンガユルハ思ハス柄ヲ照テ傍ニオル人ヲ殺シタルモノニテ故トセザルモノハ罪ナキモノナリ左レ此ノ爲ヲ行テ違レノ人ヲ打テコロシタルトヤハ邪ニ仕置ル法アリゾレ故ニ別ニ法律ニテ罪ヲ定メタルモハコノ限ニアラストハコレヲノチ云フナリ

罪ト爲ルヘキ夏實ヲ知ラスシテ犯シタル者ハ其罪ヲ論セス

此レハ擬シケアルコトヲ知ラスシテ惡意ヲナシタルモノハ秘ナ申シ付ケヌト云フニテ假令ハ他人ノ如房ナルヲ知ラズシテ之レト密通シ又ハ何ニ品トモ知ラスシテ阿片ヲ所持シタルモノハ罪トナラヌナリ

罪本重カル可クシテ犯ス片知ラサル者ハ其重キニ從テ論スルヲ得ス

此レハ親ヲ殺ス罪ハ誠ニ重クシテ死刑ノ仕置ニセララルホド重キ罪ナレト他人ト思フテ殺シタル等ノコトハ其重キ擬ニテ罪ヲ申シ候ルヲナラヌナリ

法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト爲スヲ得ス

法律規則ハ其國ノ人々誰レニテモ知ラヌバナラヌワケカラユヘ吾レハ法律ト云フモノヲ知ラヌ故罪ヲ犯シタリトテ罪ニハナラヌト云フコトハ出来ヌナリ假令法律ヲ知ラザルニモセヨ惡意ハ惡意ト云フハ面々ノ心ニ懸知スル筈ナリ法律ハ其法律ニ背クノ意ヲ罰スルワケデナク惡意ヲナスノ意ヲ罰スルモノユヘ其惡意ト知リテコレヲナスハ罪トナルナリ夫レ故ニ法律ハ知ラヌモノナリト云フテ之ヲ免サヌナリ

第七十八條 罪ヲ犯ス時知覚精神ノ喪失ニ因テ是非ヲ辨別セ

サル者ハ其罪ヲ論セス

惡意ヲナス片自身ノ仕業ノ善ニ惡ニテ差別スル知恵ナキモノハ其科ヲ申シ付ヌナリ此レハ重ニ氣違ヒナドノモノヲ云フナリ



第七十九條 罪ヲ犯ス時十二歳ニ滿サル者ハ其罪ヲ論セス但

滿八歳以上ノ者ハ情状ニ因リ滿十六歳ニ過サル時間之ヲ懲

治場ニ留置スルヲ得

⑤ 滿十二歳ニナラヌ子供ハ其仕業ノ善シ惡シヲ知ルモノナ  
シソレ故ニ惡更ヲ爲ストキ十二歳ニナラヌモノハ其罪ヲ  
シ付又懲シナガラ入獄ヨリウヘノモノハ其惡更ノ模範ニ  
ヨリ滿十六歳ニナルマデノ間懲治場ニ留置キヨク教戒  
スルナリ

第八十條 罪ヲ犯ス時滿十二歳以上十六歳ニ滿サル者ハ其所

爲是非ヲ辨別シタルト否トヲ審案シ辨別ナクシテ犯シタル

時ハ其罪ヲ論セス但情状ニ因リ滿二十歳ニ過サル時間之ヲ

懲治場ニ留置スルヲ得

若シ辨別アリテ犯シタルハ其罪ヲ宥恕シテ水刑ニ二等ヲ

減ス

⑤ 此レハ前ノ條ノ十二歳ニナラヌ子供ノ如ク善シ惡シヲ知  
ラヌモノトハ一概ニ言フワケニハイカ又善シ惡シヲ知  
ルモノトモキメカタシ故ニ十二歳ヨリ十六マデノ少年ガ惡  
更ヲナシタルトキハ其是非ヲ兼知シテナシタルカ否ヤヲ  
審案ベシ若シ辨別ナクシテナシタルモノトスルトキハ其科  
許ス但シ惡更ノ様子ニ因テハ二十歳マデノ間懲治場ニ留  
置キヨク教戒シタルナリ若シ辨別ヘアリテナシタル時ハ幼  
キ庶ナクテ其犯シタル罪ヲ懲ク擬ニ二等ヲ引下テ仕置ス  
ルナリ

第八十一條 罪ヲ犯ス時滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ハ其

罪ヲ宥恕シテ水刑ニ一等ヲ減ス

⑤ 此レハ稍智惡モ當リ前ノ人トオナシコトナリグレドモ  
尚幼キユヘニ其罪ヲ懲ク擬ヨリ一等ヲ引下ルナリ



第七十九條ヨリ此ノ條ト共ニ三様ニ區分シテ夫々處分法  
ヲ異ヘルトイヘ凡其仕業ノ實際ニヨリテ見レバ資性ノ智  
惠教育ノ有ルナシニヨリテ十二歳過ノモノガ二十歳マデ  
ノモノヨリ智慧才覺モアルニテ二十歳マデノモノガ二十歳  
過ノモノニ及バヌモアルモ知ラズ是レハ變例ニシテ過  
例トナスコト出来ヌケアリ故ニテ區別ヲ立テタル  
ナリ

第八十二條 瘖啞者罪ヲ犯シタル片ハ其罪ヲ論セス但情状ニ

因リ五年ニ過ギサル時間之ヲ懲治場ニ留置スルヲ得

瘖啞者トテ耳モ聞ヘス口モ言フコトテキヌモノハ十二歳  
過ノ子供トテナシヨウニ其秘ヲ申シ付又ナリ候シナガラ  
置クコトモアルナリ言ラヌハ聲ハコノ中ニ入ラヌト云フ  
モノハ言ハ目見ヘヌトモ其聞エモノ言フ出テ來ル故ニ父  
母ノ言ヒ付ケ師友ノ教ヲ受ゲルモノ出テ來ル世間ノ道理モ  
知リカヘツテ常並ノ人ヨリ優ルモノアリ聲モムマレツキ  
カ又ハ一二歳ノシブンヨリ聲ナレバコノ条ハ瘖啞者ト同

シク科別ハ十ケレト中年ヨリ免ナルモノハモハヤ善シ惡  
シク科別アルモノユヘ其科ヲ免ルサヌナリ故ニ盲ヤ聾ニ  
ハ罪ヲ免ス中間ニハ入ラヌナリ

第八十三條 違警罪ハ滿十六歳以上二十歳ニ滿サル者ト雖モ

其罪ヲ宥恕スルヲ得ス

違警罪トテ人タルノ道ニ背キタルヲ罪ス是レハ世間ノ一般  
ノ迷惑ヲ防グ爲メニ罪スルモノナレハ犯ス人ノ惡心ノア  
ルナシニカハ大人ト同様ニ智慧モ申シ付ルナリ

滿十二歳以上十六歳ニ滿タザルモノハ其罪ヲ宥恕シテ本刑  
ニ一等ヲ減ス十二歳ニ滿タザル者及ビ瘖啞者ハ其罪ヲ論セ

ス

十二歳ヨリ十六歳ニナラヌモノガ違警罪ヲ犯セハ少シク  
宥恕シテ一等ヲ減ラシ十二歳ヨリ下ノ子供并ニ瘖啞者ハ







① 品物又ハ役所ニユキ其ノ盗ミ騙リ取ル等ノ惡事ヲナシタルモ  
 自分ニツグナヒタル時ハ自置ヨリニ依テ罪ガ輕クナリ  
 ノ外ニマタ其罪ヲ犯シタル時ハ自置ヨリニ依テ罪ガ輕クナリ  
 スナリ又ハ其盗ミモノヲ皆ナリ故ニサス段引下分以テ返ス  
 時ハ一段引下ケテキナリ故ニサス段引下分以テ返ス  
 タルモノハ三等減スレバ役所ヨリ一段引下ケテ上ルモハ償ノ爲  
 減スルニナルナリ然レバ役所ヨリ一段引下ケテ上ルモハ償ノ爲  
 二身代ヲ取上タルモノハ此中ニ入ラ又ナリ

第八十七條 財産ニ對スル罪ヲ犯シ被害者ニ首服シタル者ハ

官ニ自首スルト同ク前二條ノ列ニ照シテ處斷ス

① 自首ハ官ニセテ其ノ金銀物品ヲ盗ミトリタル家ニ往キ其始  
 未キト同様一段引下ケ又ハ品物ヲ返シ損害ヲ償フタル  
 ハ二段又ハ一段引下ルハ前ノ條ニヨリテ捌クナリ

第八十八條 此節ニ記載スルノ外本條別ニ自首ノ例子掲ゲタ

ル者ハ各其本條ニ從フ

① 此ニ書キ載セタル外別ニ自首ノ仕方ヲ書キ載セタルモノハ  
 夫々ノ本條ニ依テ捌キナリ本條ニ書キ載セタルモノハ  
 第二百二十六條金銀物品ノ偽造ヲコシラヘタルノ罪等ヲサスナ

第三節 酌量減輕 自第九十九條 至第九十條

① 酌量トハ酌ミハカカル丁ニテ惡事ヲ爲シタルモノハ其  
 實ヲオシハカリ如何ニモ氣ノ毒トオモフ罪ナレハ其  
 ノ理前ヲ酌ミ量リ擬テニ確定タル仕置ヲ減シ輕クス  
 ルナリ

第八十九條 重罪輕罪違警罪ヲ分タス所犯情狀原諒ス可キ者

ハ酌量シテ本刑ヲ減輕スル丁ヲ得

法律ニ於テ本刑ヲ加重シ又ハ減輕ス可キ者ト雖凡其酌量ス



可キ時ハ仍ホ之ヲ減輕スルヲ得

註此レハ他ノ仕置ヲ見込ニ委スルノナリ所犯ノ情狀原諒スヘ  
 由ト違ヒ載判官ノ見込ニ委スルノナリ所犯ノ情狀原諒スヘ  
 ケニモハ至タラ子氏今其ノ澤山ナルモ子云ヘハ先ツ科人ノ身  
 分ニ就テハ善シキモ老ヨルモ賤キモ智恵アルモ愚鈍ナル  
 毛ノ教育ノ善シキモ老ヨルモ賤キモ智恵アルモ愚鈍ナル  
 又ハ罪ヲ犯スル心ノ口トキモ又罪ヲ犯シタル後チ後悔ノ  
 ナリタル原因又其ノ口トキモ又罪ヲ犯シタル後チ後悔ノ  
 心アルヤ否キノ裁判官ノ原諒スヘキモ實際ヲヨク勤考ヘ  
 テ少シテモ其ノ情狀ノ原諒スヘキモ實際ヲヨク勤考ヘ  
 警罪ノ別テ其ノ罪ヲ別ク控テヨリ一等力二等ヲ減シ輕  
 クスル丁子出來ルナリ  
 此ノ刑法ノ控テ本ト犯シタル罪ヲ擧ク仕置ヲ加ヘテ  
 重クシ減シテ輕クスヘキ者デモ其情狀ノ擧ク仕置ヲ加ヘテ  
 アル片ハ又此ノ法ヲ以テ其仕置キヲ輕クスルナリ

第九十條 酌量減輕スヘキ者ハ本刑二一等又ハ二等ヲ減ス

註裁判官ノ裁量ニ依リテ輕クスヘキ者ト記載スル所ノ如ク其ノ情  
 狀ヲ酌量シ取リテ輕クスヘキ者ト記載スル所ノ如ク其ノ情  
 等子減シ又ハ二等子減スコト子得ルナリ

第五章 再犯加重 自第九十一條 至第九十八條

註再犯トハ前ニ惡事ヲ行ハシタルモノハ當リ後チ  
 之ニ犯スルハ前ニ惡事ヲ行ハシタルモノハ當リ後チ  
 ノ仕置ノ上ニ又仕置ヲ加ヘテ重クスルナリ  
 其ノ仕置ノ上ニ又仕置ヲ加ヘテ重クスルナリ  
 ハ前ニ惡事ヲ行ハシタルモノハ當リ後チ  
 八通常ノ事ナシハ相當ノ刑罰ニ行ハレ其ノ難儀ナルコ  
 トハ通常ノ事ナシハ相當ノ刑罰ニ行ハレ其ノ難儀ナルコ  
 ノ刑罰ニ猶モ之ニ懲リスルニ足ラヌユヘニ相當ノ刑罰ノ上ニ  
 等子加ヘテ重クスルナリ

第九十一條 先ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者再犯重罪ニ諷ル

時ハ本刑二一等子加フ







第九十四條 再犯加重ハ初判ノ裁判確定ノ後ニ非ザレバ之ヲ

論スルヲ得ス

註

申シ判確定トハ初ノ惡事ヲ爲スニヨリテ裁判所ニテ其罪ハ申シ渡ハ濟ミタレモ其科人ガ其申シ渡チ不當トシ不服ヲ申シ立ツルヲ申シ出テ來ル掟アル日限ガアルユヘソノ日限ノ濟トモ其不服ヲ申シ出テ來ラレ日限ガアルユヘソノ日限ノ濟罪ナル時ヲ以テ裁判確定ノ日ト定メルナリ佞令バ茲ニ重罪ナル時タルモ不服申シ立テ期限中ハ裁判ガ確ラヌモソノ期限中ニ重懲役ノ刑ニ該ル罪ヲナシタルトキハ數罪俱發トテ彼是ノ罪一所ニ顯ハレタルモノトシテ其重キ方ニヨリテ刑罰ヲ申シ付ルナリ若シ初メニナシタル罪リ仕置ノキマリタルル科トシテ別ニ罪ヲナシタルモノハ仕置中又惡事ヲナシタルル科トシテ別ニ罪ヲナシタルモノハ仕置中又惡事

第九十五條 刑期限内再ヒ罪ヲ犯スニ因リ刑ヲ宣告シタル時

ハ先ツ其定役ニ服ス可キ者ヲ執行シ定役ニ服セサル者ヲ後

ニス若シ初犯再犯共ニ定役ニ服スル刑ニ該ル時又ハ共ニ定

役ニ服セサル刑ニ該ル時ハ先ツ其重キ者ヲ執行ス

罰金科料ニ該ル者ハ順序ニ拘ハラス各之ヲ徴收ス

註

刑期限内再ヒ罪ヲ犯ス云々トハ前ノ罪ノ仕置ノ濟ヌウチ又惡事ヲナスニ因リ仕置ヲ申付ルルハ先ツ定役トテ罰役先ニ働ス方ヲ申付ケ働カサヌモ申付ラレタル後二年ヲ過ギテ五年ノ重懲役ニアタル惡事ヲ申付ケ其五年ヲスマシテ仕置ヲ見合セテ五年ノ重懲役ヲ申付ケ其五年ヲスマシテ重懲役ノ仕置ニモドテ殘リノ八年ヲ勤メサセルナリ重懲役ハカハ働スナリ置モ第ナリ第ニ條ニ條アリ若シ初メノ罪モ後ノ罪モ苦役勞働ス仕置カ又ハ働カサ又仕置ニナルモノハ先ツ罪ノ重キ分ヲ仕置シテ輕キ分ハ後



第九十六條 陸海軍裁判所ニ於テ判決ヲ經タル者再ビ重罪輕

罪ヲ犯シタル時ハ初犯ノ非常律ニ從ヒ處斷シタルモノニア

ラサレバ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

⑤ 初メ惡事ヲナシタルモノ陸軍省トカ海軍省トカノ裁判所

ニテ仕置ニナリタルモノ再ビ惡事ヲナシタルモノナリト

ナリト加ヘテ重キ仕置ニハセス初メテ惡事ヲナシタルモノ

トシテ仕置スルナリ候シナガラ此ノ刑罰ノ擬ニテ仕置ヲ

第九十七條 大赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ再ヒ罪ヲ犯スト雖

モ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

⑥ 日本國中ノ罪人ヲユルシテ無疵ノ人トナリタルモノハリ

ノ赦ニトシテ惡事ヲナシタルトイハレトニカマヒナク後ニ

惡事ヲナシテモ再ヒ罪ヲナシタルモノトシテ仕置スルナ

リ大赦ハ國中ノ人其罪ヲ忘ルト云道理ニヨリシモノユヘ

第九十八條 三犯以上ノ者ト雖モ其加重ノ法ハ再犯ノ例ニ同

シ

⑦ 三度四度ト惡事ヲナシタルモノヲ仕置スルニ其仕置ヲ增

シテ重クスルハ二度目惡事ヲナシタルモノヲ仕置スル仕

方トカワルヲナトナリ

第六章 加減順序 凡テ

第九十九條 犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本刑ヲ加重

減輕ス可キ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未



遂犯罪ノ減等其  
他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加減シタル者ヲ以テ本刑ト爲ス

一再犯加重

二宥忍減輕

三自首減輕

四酌量減輕

罪ヲ犯シタルトキノアリサマニ因リ此ノ刑法凡テ加重ヘテ重ニ引合セテ同シキハ此條ニ記キノセタル通り  
フシ減シテ順序ニヨリテ刑ノ名ヲキメルナリ  
ヨリ四逆ノ順序ニヨリテ刑ノ名ヲキメルナリ  
併シ徒犯トテ惡事ヲナスモノヲ手傳ヒ又ハ未遂犯トテ惡事ヲナサントシテ未ダナラズ片ノ減シカタ其外此總則ノ特別ノ加重トセズシテ第二編ヨリ下ニカキノセタル本刑トナシ

テ後ニコノ條ニカキノセタル一ニ三四ノ順序ニヨリテ加重スルコトナリ  
例ヘハ先キニ輕罪ノ仕置ニ行ハレタル二人ヨリウヘノ人々申シ合セテ竊盜ヲナシテ其惡事イマダ顕ハレザル以前ニ官ニ向ヒ其惡事ヲ自身ニ白狀シテ盜三物ヲ半分返シシルニ其盜人年二十歳ニナラズモノテアリタルハ何ナ仕置方ヲシテコレヲ仕置スルカトイハハ竊盜ヲナシタル仕置ハアタリマヘハ二月ヨリスクナカラズ四年ヨリ多カラザル重禁錮ノ仕置ニトスハハツレ氏二人以上申シ合セタルカドニヨリテトワケ加ヘ重クシ二月十五日ヨリ少ナルラス五年ヨリ多カラザル重禁錮ニ仕置スルヲ當リ前ノ擧ト方トナス然ルニ此ノ條ニキメタル擧キ方ニヨルトキハ再ヒ惡事ヲナシタルユヘコノウヘ一等ヲ加ヘテ三月ヨリ少ナカラズ六年ヨリ多カラサル重禁錮ニ仕置スルナ第一再犯加重トナス其盜人二十歳ニナラサルユヘ一等ヲ減スハツナルニ自分ニ白狀シタルユヘ又一等ヲ減ス尚ホ盜モノヲ返シタルワケヲ以テ此ノウヘ一等ヲ減スノタシナリ

第七章

數罪俱發

自第百條至第百三條







第二百二條

一罪前ニ發シ已ニ判決ヲ經テ餘罪後ニ發シ其輕ク

若クハ等シキ者ハ之ヲ論セス其重キ者ハ更ニ之ヲ論シ前發

ノ刑ヲ以テ後發ノ刑ニ通算ス但前發ノ刑罰金科料ニ該リ已

ニ納完シタル者ハ第二十七條ノ例ニ照シ折算シテ後發ノ刑

期ニ通算ス

若シ前發ノ罪ヲ判決スル時未タ發セサル罪再犯ノ罪ト俱ニ

發シタル者ハ其再犯ト比較シ一ノ重キニ從ヒ前發ノ刑ヲ通

算ス

一ノ惡事カ露レタル惡事ガ其仕置ニナリタル罪ヨリ輕キカ又ハ  
露レタル罪アリタル罪重キトキハ前ノ刑キ限トサシヒキカ  
同シ露レタル罪重キトキハ前ノ刑キ限トサシヒキカ  
後ニ露レタル罪重キトキハ前ノ刑キ限トサシヒキカ

シヤウノ罰金ヲ納メ但シ前ニ發レタル罪罰金科ノ擱ニナリ  
テ其ノ罰金ヲ納メタルモ後ニ發レタル罪罰金科ノ擱ニナリ  
第二十七條ノ規則ニ引合セテ一圓ノ罰金ヲ申付テ仕置

ルナリ候令ハ前ニ發レタル罪罰金科ノ擱ニナリ申付テ仕置  
ヲ納メタル後五ケ月十日ノ間ニ發シタル罪罰金科ノ擱ニナリ  
タルトキ前ニ申付テラレタル罪罰金科ノ擱ニナリ申付テ仕置

セテ一圓ヲ一日トナセバ百日トナル中ヨリ去リ残リ一  
十日トナルソノ三月十日ヲ五日ケ月ノ中ヨリ去リ残リ一  
月廿五日ノ間ノ重罪ヲ擱シタル罪ニ犯シタル罪ア

第二十八條ハ前ニ發レタル罪ニ犯シタル罪ニ犯シタル罪  
ノハ前ニ發レタル罪ニ犯シタル罪ニ犯シタル罪ニ犯シタル罪  
テ一ノ重キカ仕置ニヨリテ擱シタル罪ニ犯シタル罪ニ犯シタル罪

三年ノ禁錮ニシテアタル中ニ前ニ發シタル罪ニ犯シタル罪  
ハレサル惡事カコノトキ擱レタル罪カ禁錮ニ仕置スルハ  
仕置ニ該タル故ニ其一方ノ重ニヨリテ再ヒ犯シタル罪ナ

三年六ケ月ノ仕置ニスルナリ  
三年六ケ月ノ仕置ニスルナリ  
三年六ケ月ノ仕置ニスルナリ

第三百三條 數罪共ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒取及ヒ

第三百三條 數罪共ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒取及ヒ  
第三百三條 數罪共ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒取及ヒ  
第三百三條 數罪共ニ發シ一ノ重キニ從フ時ト雖モ其沒取及ヒ



徵償ノ處分ハ各本法ニ從フ

色々ノ罪一其罪ニ就テ取上ルル品又ハ償ヲサセル棚ハリレ  
キチスレモ其罪ニ就テ取上ルル品又ハ償ヲサセル棚ハリレ  
ソレノ本法ニヨリテ棚キチナシテ之ヲ免サズ取ルモノ  
ハ取上ケ償ハセルモノハ償ハセルナリ

第八章 數人共犯 自第四百四條 至第四百十條

數人共犯トハ十人以上ヨリ以上申シ合シテ罪ヲ犯スナリ  
ナリ

第一節 正犯

正犯トハ數人申シ合セテ現ニ惡事ヲナシタルモノ又  
ハ人ヲ教唆メテ其惡事ヲナサシメタルヲ正犯ト云フ  
ナリ

第四百四條 二人以上現ニ罪ヲ犯シタル者ハ皆正犯ト為シ各自

ニ其刑ヲ科ス

二人ヨリ以上連合セ現ニ惡事ヲナシタル者ハ夫々其仕置  
ヲ輕倍ルナリ

假令ハ甲乙丙三人アリ此ノ三人申シ合セテ惡事ヲナシ  
タルハ甲ノ一人再犯トテ前ニ惡事ヲナシ且仕置ニナリ  
年限カ悉テ免ルサレタルモ再犯トシタルモ丙ハ年二十  
ナリ乙ハ平常ノ人初テヨノ惡事ヲシタルモ丙ハ年二十  
歳ニ足ラヌモノナルハ甲ハ再犯ノ故ヲ以テ一等ヲ加ヘ  
重クシ丙ハ二十歳ニ足ラヌモノハ故ヘ一等減シ輕クシ乙ハ  
平常ノ人ニテ再犯デモ十ク二十歳ヨリ上ノモノユヘヨノ  
三人ガ申シ合セテナシタル罪ヲ擲クアタリマヘノ仕置ニ  
スルナリ

第一百五條 人ヲ教唆シテ重罪輕罪ヲ犯サシメタル者ハ亦正犯

ト爲ス

自分ニ惡事ヲナサストモ人ヲ教唆シテ惡事ヲナサシメ  
ルモノハ重罪輕罪ニ限リ其ノリ、ノカシタルモノヲ正犯  
トナシ仕置スルナリ其教唆ス仕置ガハ澤山アレモ二三  
ナ言フハ人ヲ誘欺シ又ハ物ヲ贈リタリ離迫カシタリシ



テ悪事ヲナサシムル等ナリ

第百六條 正犯ノ身分ニ因リ別ニ刑ヲ加重ス可キ時ハ他ノ正

犯從犯及ヒ教唆者ニ及ボスヲ得ス

正犯ノ身分ニヨリ別ニ刑ヲ加ヘ重クスルトハタトヘハ子  
カ其父ヲ故ト殺スルハ其子ノ身分トシテ父ヲ殺シタルユ  
ヘ其身分ニヨリ刑ヲ重クスルハ此ノ子一人ハ當リ前ノ仕置  
ク其身分ニテナシタル悪事ナレバ他ノ一人ハ當リ前ノ仕置  
シテ別ニ刑ヲ重クセヌナリ又ハ殺シタル人ハ申シ候セテ盜  
爲スニ其ノ中一人カ人ヲ殺シタルハ申シ候セテ盜ハ當  
リ前ノ仕置ニナレバ此ノ者ハ別ニ刑ヲ重クスルナリ

第百七條 犯人ノ多数ニ因リ刑ヲ加重スヘキ時ハ教唆者ヲ算

入シテ多数ト爲スヲ得ス

悪事ヲナスモノ、多数ニ因リテ刑ヲ加ヘ重クスルハ  
ノ自犯ニ手ヲ下シテ悪事ヲナサシメタルモノナ此ノ多数

ノ中ニ入レテ刑ヲ重クスルヲハセヌナリ

第百八條 事ヲ指定シテ犯罪ヲ教唆スルニ當リ犯人教唆ニ乘

シ其指定シタル意外ノ罪ヲ犯シ又ハ其現ニ行フ所ノ方法教

唆者ノ指示シタル所ト殊ナル時ハ左ノ例ニ照シテ教唆者ヲ

處断ス

人アリコレヨレノ悪事ヲナセト指シ定メテ他ノ人ヲ教唆  
シテ悪事ヲナサシムルハ其ノ悪事ヲナスモノ其ノ指圖  
ニ違フタル外ノ悪事ヲナシ又ハ其ノ現ニ惡事ノ仕置ガ指  
圖ニ違リセサルハ左ノ例ニ照シテ載セタル條ニ非合セテ仕  
置スルナリ

一所犯教唆シタル罪ヨリ重キ時ハ止々其指定シタル罪ニ從

フテ刑ヲ科ス



二所犯教唆シタル罪ヨリ輕キ時ハ現ニ行フ所ノ罪ニ從テ刑

ヲ科ス

第一ハ現ニ惡事ヲ指圖シタルニモ、他人ニ教唆シタルノ竊盜、  
テセヨト指圖シタルノ教唆シタルモ、此指圖シタルニハ、  
テセヨト指圖シタルノ竊盜ノ罪ヲ以テ、  
第二ハ前ト同シク指圖シタル事ヲナシタル惡事ヲ十  
ス候令ハ強盜ヲセヨト指圖シタル及テ竊盜ヲナシタル  
キハ輕キニヨリ、其竊盜ノ仕置ヲ申解ルナリ、此キハ、  
メテ言ヘハ現ニ惡事ヲナシタル惡事カ重キ時ハ、其指圖シタル  
圖通リニセシテ、ナシタル惡事カ重キ時ハ、其指圖シタル  
通リノ輕キニヨリ、又ソノモノ輕キ惡事ヲナシタルハ、其  
現ニ行フタル輕キ旋ニヨリテ、擲クナリ

第二節 從犯

從犯トハ惡事ヲナス手傳子餘所ナガラ助ケルヲ云フ

第百九條

重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指

示シ其他豫備所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメ

タル者ハ從犯トナシ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現ニ行フ

所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止々其知ル所ノ罪ニ照シ

一等ヲ減ス

重罪輕罪ヲ犯スヲ知テ器具ヲ給與シ又ハ誘導指  
示シ其他豫備所爲ヲ以テ正犯ヲ幫助シ犯罪ヲ容易ナラシメ  
タル者ハ從犯トナシ正犯ノ刑ニ一等ヲ減ス但正犯現ニ行フ  
所ノ罪從犯ノ知ル所ヨリ重キ時ハ止々其知ル所ノ罪ニ照シ  
一等ヲ減ス  
與ヘ又ハ手引ナシ其外人ニ知レザルヨウニシテ惡事ヲ  
犯ト爲シ現ニ惡事ヲナシタルニテ仕置スル旋ニヨリ一等  
減ス但從犯ノ強盜ヲアテハ竊盜ト思ヒシニ思ヒルニ強盜ノ  
仕置ヲナスモ竊盜ノ刑ニ一等ヲ減シテ仕置スルナリ

第百十條

身分ニ因リ刑ヲ加重スヘキ者從犯ト爲ル時ハ其重



キニ從テ一等ヲ減ス

正犯ノ身分ニ因リ刑ヲ減免ス可キ時ト雖凡從犯ノ刑ハ其輕

キニ從フテ減免スルヲ得ス

身分ニヨリ刑ヲ加ヘ重クスヘキモノ正犯ナルトキノ仕置  
 ハ第百六條ニ書キメタル凡此ノ條ハ其ノ身分ニ依リテ  
 從犯ヨリナルトキニ減シテ仕置スルモノ條ニ云フ其身分  
 犯ヨリナルトキニ減シテ仕置スルモノ條ニ云フ其身分  
 ハ通常ノ減刑ノ例ハ重懲役トスレバ  
 リ一等ヲ減スルハ其ノ現ニ輕懲役ニシタルモノ父チ歐打  
 一從犯ハナルトキニ減シテ仕置スルモノ條ニ云フ其身分  
 從犯ハナルトキニ減シテ仕置スルモノ條ニ云フ其身分  
 ス從犯ハナルトキニ減シテ仕置スルモノ條ニ云フ其身分  
 其ノ身分ニ依リテ減刑スルハ其ノ現ニ輕懲役ニシタルモ  
 其ノ身分ニ依リテ減刑スルハ其ノ現ニ輕懲役ニシタルモ  
 其ノ身分ニ依リテ減刑スルハ其ノ現ニ輕懲役ニシタルモ  
 正犯ノ期徒刑ニ仕置スルノ時モ其ノ正犯チ助ケタル從犯  
 分ノ刑ハ輕キニヨリテ減免スル時其妻チ助ケタル從犯人  
 夫ノ輕キニヨリテ減免スル時其妻チ助ケタル從犯人

ルトキニ其正犯タル妻ハ身分ニヨリテ竊盜ノ罪ナケレバ  
 第三百七十七條ヲ見合スヘシ其從犯人ハ通常ノ竊盜ノ刑  
 ヨリ一等ヲ減シテ仕置スルナリ

第九章 未遂犯罪 自第百十一條 至第百十三條

未遂ハ惡事チナサント思フバカクニテ惡事チナシトケ  
 ヌモノヲ云フナリ其未遂犯ノ種類チ三種ニ分ケテ云フ  
 片ハ第一種ハモトモ罪ヲ犯サント思フハカクニテ惡事  
 アラハレサルモノユヘ之レナシト思フハカクニテ惡事  
 シ第二種ハ其惡事チイマダ行ハラズモノ其惡事チナ  
 ニ用意ナシタルカヤマダ行ハラズモノ其惡事チナ  
 ナセヌマヘノユヘ彌惡事チナス爲ニ用意シタルモ  
 カ否ヤチ知リカケキモノナレハ第一種ノトウリ  
 仕置スル場合ハ少ナキナリ第三種ハ現ニ惡事チナシタ  
 ルトカヤラハレタレバ仕遂メテノトナレハ大抵コレ  
 等ハ其科ナ申シ付ケルナリ

第百十一條 罪ヲ犯サンコトヲ謀リ又ハ其豫備ヲ爲スト雖凡未



夕其事ヲ行ハサル者ハ本條別ニ刑名ヲ記載スルニ非サレハ其刑ヲ科セス

① 惡事ナリトシテ決心シタレハ一人ノ力テハ六ツカシキユヘ内々他ノ人ト相談シ又ハ其用意ナシテモ其事ヲ實地ニナサヌモノハ此ノ刑法ノ擬ニテ別ニ仕置スルト云フ

第百十二條 罪ヲ犯サントシテ已ニ其事ヲ行フト雖モ犯人意

外ノ障礙若クハ舛錯ニ因リ未タ遂ゲサル時ハ已ニ遂ケタル

者ノ刑ニ一等又ハ二等ヲ減ス

② 惡事ヲナサント思フテ其ノ事ヲナスト雖モ思ヒスヨラヌ差シサハリカ又ハ間違ヒ等ニテ其惡事ヲナシオホク又トキハ已ニナシトゲタル者ヲ仕置スル刑ニ一等カ二等ヲ引下ケテ捌クナリ仮令ハ刀又ハ銃ヲ以テ人ヲ殺サントスルニ其刀銃他人ノ處ニ取ラレ又ハ財物ヲ盜ムトモ出京ズ又オモヒ人々ノ見付ラレ遂ニ殺ストモ盜ムトモ出京ズ又オモヒ

ノホカノマチカヒトハ金錢ヲ盜三々コトハ如ク一等カ二等ヲ減スナリ

第百十三條 重罪ヲ犯サントシテ未タ遂サルモノハ前條ノ例

ニ照シテ處断ス

③ 重罪ヲ犯サントシテ中程ニヤメ仕遂ケヌモノハ前條ノ例ニ引キ合セテ捌クナリ 惡事ヲナサントシテ仕遂ゲヌニサシワリマテカヒノ三ニアラス仮令ハ惡事ヲ仕掛ルトトハ仕掛ケタレトモ中程ヨリ自身ニ止ルモノアリシガイカナルワケニテ止マルニモセヨ捷テカラ見ルトキハ世間ノ害ニナル仕業ユヘ矢張實際ニナシタル惡事ニ付テ捌クナリ

輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂サルモノハ本條別ニ記載スルニ

非サレハ前條ノ例ニ照ラシテ處断スルヲ得ス



① 輕罪ヲ犯シテ仕送ヌモノヲ擧ニ仕置スルモノトセサルモノアリソノ仕置スヘキモノニハカナラヌ何ノ條ニカキノセタル輕罪ヲ犯サントシテ仕送ケザルモノハ此ノ例ニヨリテ引合セテ擧クト云フオキテナキトキハ此ノ例ニヨリテ擧クトカナラヌナリ

違警罪ヲ犯サントシテ未タ遂サル者ハ其罪ヲ論セス

② 違警罪ハ罪ノ輕キモノナルユヘコレヲ仕送ヌトキハ科ナ申シ付ヌナリ

第十章 親屬例 自第百十四條 至第百十五條

③ 親屬トハ身依リモノニテ親類ト云フナリ

第百十四條 此刑法ニ於テ親屬ト稱スルハ左ニ記載シタル者ヲ云フ

一 祖父母父母夫妻

二 子孫及ヒ其配偶者

三 兄弟姉妹及ヒ其配偶者

四 兄弟姉妹ノ子及ヒ其配偶者

五 父母ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者

六 父母ノ兄弟姉妹ノ子

七 配偶者ノ祖父母父母

八 配偶者ノ兄弟姉妹及ヒ其配偶者

九 配偶者ノ兄弟姉妹ノ子

十 配偶者ノ父母ノ兄弟姉妹

第百十五條 祖父母ト稱スルハ高曾祖父母外祖父母同シ父母



ト稱スルハ繼父母嫡母同シ子孫ト稱スルハ庶子曾玄孫外孫

同シ兄弟姉妹ト稱スルハ異父異母ノ兄弟姉妹同シ

養子其養家ニ於ル親屬ノ例ハ實子ニ同シ

註

祖父母トナヘル中ニオ、チ、オ、バ、母方ノチイバ  
 合三子孫ト云フ中ニ養ケバラノ子ヒマコヤシナヒゴチ合  
 三兄弟姉妹ト云フ中ニハラガハリ胤ガハリノ兄弟姉妹モ  
 合ムナリ養子トナリタル家ノ親類ハ實ノ身依リト同様ノ  
 例ニ從フナリ



